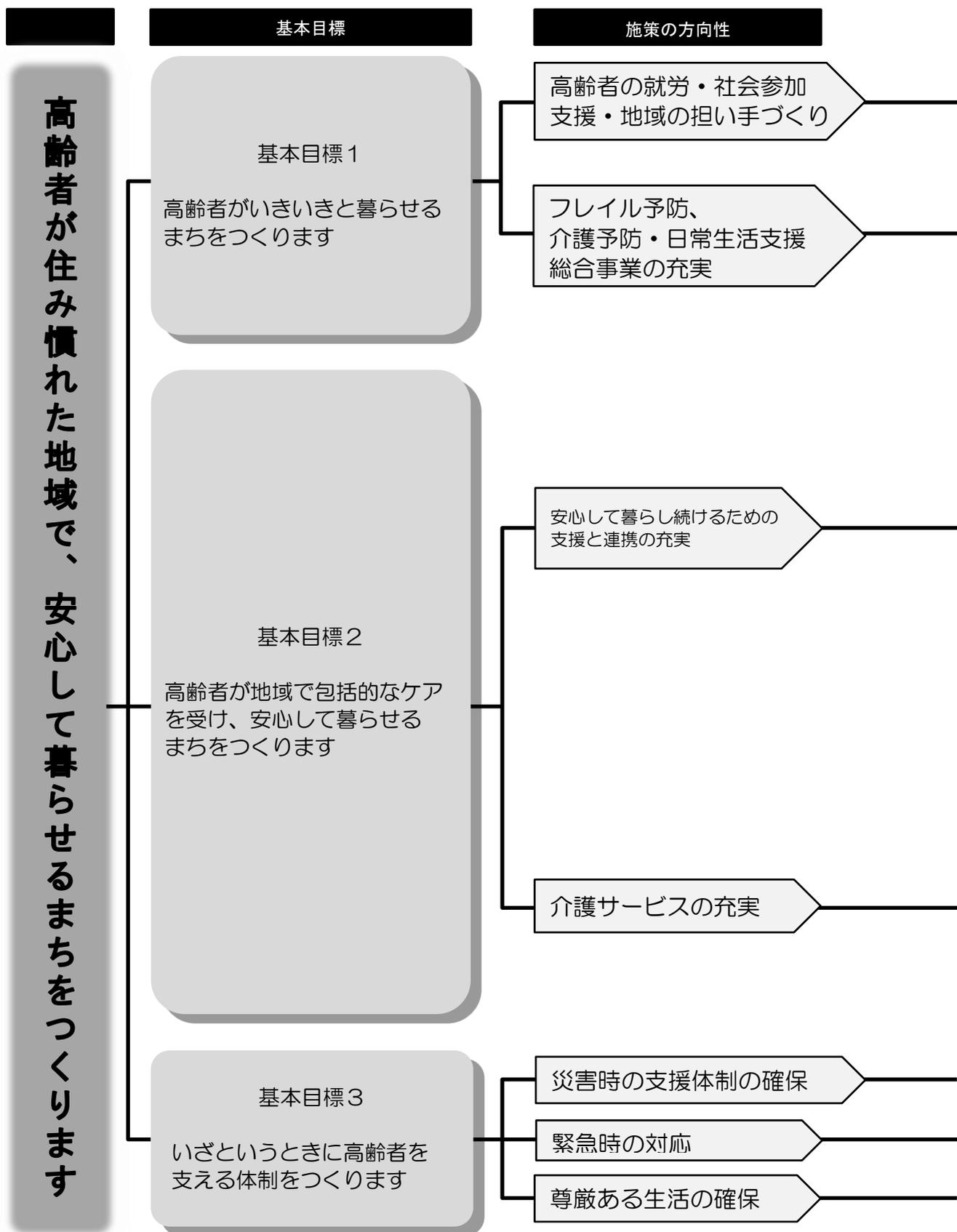


# おおた高齢者施策推進プラン 令和2年度 実施状況（令和3年3月末現在）

# 計画の体系図 ~自立支援・重度化防止をめざした



# 地域包括ケアシステムの深化・推進

●：新規事業

主な事業	計画事業
高齢者の就労促進	○高齢者等就労・社会参加支援センター（大田区 いきいき しごと ステーション）の充実 ○シルバー人材センターへの支援 ●元気高齢者就労サポート事業
地域活動の支援	○いきいき高齢者入浴事業 ○シニアクラブの活性化 ○生涯現役社会に向けた高齢者の社会参加推進事業 ●老人いこいの家の機能の充実 ●シニアステーション事業
フレイル予防の普及・啓発、通いの場の確保	●元気シニア・プロジェクト●介護予防の普及・啓発（一般介護予防事業） ○地域の担い手育成及び通いの場の確保（一般介護予防事業） ○認知症予防の促進（一般介護予防事業）
介護予防・生活支援サービスの取組強化	●介護予防・生活支援サービス事業による自立支援 ●介護予防応援評価事業 ●自立に資する介護予防ケアマネジメント
地域包括支援センターを中核とした地域包括ケアシステムの推進	●地域包括支援センターの適正配置 ●地域包括支援センターの質的向上 ○地域ケア会議の実施 ○生活支援サービスの体制整備 ○高齢者ほっとテレフォンの実施
見守り・支え合い、家族介護者への支援による高齢者の在宅生活継続への支援	○高齢者見守りネットワーク事業の充実 ●消費者被害防止の推進 ○高齢者見守り強化策としての熱中症予防事業 ○ひとり暮らし高齢者支援事業 ●高齢者在宅生活支援事業 ○家族介護者支援ホームヘルプサービス事業 ○家族介護者の交流の促進
認知症高齢者への支援	●認知症初期集中支援チーム、認知症地域支援推進員 ○認知症支援コーディネーター事業 ○認知症サポーター養成講座事業 ●認知症高齢者支援事業 ●大田区行方不明高齢者等情報配信事業（高齢者見守りメール） ●若年性認知症の支援 ●認知症高齢者グループホーム家賃等助成事業
医療機関との連携	●在宅医療相談窓口の推進 ●在宅医療関係者の連携強化とレベルアップ ●区民への普及・啓発
住まいの確保支援	●高齢者が自宅に住み続けるための情報提供 ○高齢者住宅改修への支援 ○高齢者等住宅確保支援 ●生活支援付すまい確保事業 ●居住支援協議会の設置 ○借上型区営シルバーピアの供給 ○都市型軽費老人ホーム整備費補助事業
居宅介護サービスの充実	○居宅系地域密着型サービスの整備 ○ショートステイの充実
介護保険施設等の整備支援	○特別養護老人ホームの整備支援 ○認知症高齢者グループホームの整備支援
介護人材の確保及び資質の向上	●多様な介護人材の確保 ●介護人材の定着・資質向上に向けた支援
サービス向上に向けた事業者支援・指導	●介護サービス事業所の運営支援 ●介護給付適正化システムの活用による事業者の指導育成 ●福祉サービス第三者評価受審促進（居宅・施設系）
災害への備えの普及・啓発	●高齢者施設等を活用した普及・啓発 ○福祉避難所の体制整備
高齢者緊急一時保護・支援体制の整備	○緊急支援体制の整備 ○緊急ショートステイ事業 ●見守りキーホルダー24時間対応 ●大田区行方不明高齢者等情報配信事業（高齢者見守りメール）（再掲）
高齢者等の権利擁護の推進	○成年後見制度の利用促進 ○後見人の確保
高齢者虐待防止・対応の推進	○高齢者虐待防止の啓発及び高齢者虐待の対応

## 基本目標 1 高齢者がいきいきと暮らせるまちをつくります

施策の方向性：高齢者の就労・社会参加支援・地域の担い手づくり

主な事業	高齢者の就労促進
主な事業の目標	<p>高齢者等就労・社会参加支援センター（大田区 いきいき しごと ステーション）、シルバー人材センター等の支援により、高齢者が知識や経験、技術や能力を活かした社会参加の機会拡大を図り、多くの高齢者が地域活動の担い手として活躍できる仕組みづくりを推進します。</p>
計 画 事 業	<p><b>重点</b> 高齢者等就労・社会参加支援センター（大田区いきいきしごとステーション）の充実 【高齢福祉課】</p>
	<p><b>【事業目標】</b>                      高齢者等就労・社会参加支援センター（大田区 いきいき しごと ステーション）への運営経費補助を通じ、高齢者が経験や知識、技能や能力を活かし、就労や地域のさまざまな活動に参加できるような情報提供やきっかけづくりをすすめます。</p>
	<p><b>令和 2 年度の主な実施内容</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 求人開拓件数 2,022 件（前年比 620 件減）</li> <li>・ 就職者数 86 人（前年比 82 人減）</li> <li>・ 前年と比較して減少した要因：新型コロナウイルス感染症拡大の影響による求人件数の減少。</li> </ul>
	<p><b>令和 2 年度の取組計画のふりかえり</b></p> <p><b>【昨年度記載内容】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ シルバー人材センター、ハローワークとの連携強化。知名度の向上。</li> </ul> <p><b>【実績・評価】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 求職者の希望に沿った就労につなげるため、シルバー人材センター及びハローワークとの連携を図り、就労促進に努めた。</li> <li>・ 事業案内パンフレットを関係機関に設置する等、知名度向上を図った。</li> </ul>
	<p><b>事業実施における課題・解決策</b></p> <p><b>【課題】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 高齢者の就労支援を実施している関係機関（シルバー人材センター、シニアステーション 糶谷）との役割の明確化及び連携強化。</li> </ul> <p><b>【解決策】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 情報共有の場を設けるなど、関係機関との連携強化を図っていく。</li> </ul>
	<p><b>令和 3 年度の取組計画</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ シルバー人材センター、シニアステーション糶谷との連携強化。</li> <li>・ 就職面接会や再就職支援セミナー等の開催を支援する。</li> </ul>
<p><b>重点</b> シルバー人材センターへの支援 【高齢福祉課】</p>	
<p><b>【事業目標】</b>                      公益社団法人大田区シルバー人材センターへの運営経費補助を通じ、自らの能力や経験を活かして働きたい高齢者や短時間労働を希望する高齢者が働く機会を確保するとともに、高齢者の地域社会の発展への貢献をすすめます。</p>	

計 画 事 業	<p><b>令和2年度の主な実施内容</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・就労人数 延 183,933 人（前年比 19,226 人減）</li> <li>・会員数 3,096 人（前年比 18 人減）</li> <li>・前年と比較して減少した要因：新型コロナウイルス感染症拡大の影響による受注件数の減少。</li> </ul>
	<p><b>令和2年度の取組計画のふりかえり</b></p> <p>【昨年度記載内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・いきいき仕事ステーション、ハローワークとの連携。会員のスキルアップ。</li> </ul> <p>【実績・評価】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・求職者の希望に沿った就労につなげるため、シルバー人材センター及びハローワークとの連携を図り、就労促進に努めた。</li> <li>・会員のスキルアップを図るため、就業機会の拡大に向けた様々な研修を実施した。</li> </ul>
	<p><b>事業実施における課題・解決策</b></p> <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・高齢者の就労支援を実施している関係機関（シルバー人材センター、シニアステーション 糀谷）との役割の明確化及び連携強化。</li> <li>・会員増加に向けた取り組み強化。</li> </ul> <p>【解決策】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・情報共有の場を設けるなど、関係機関との連携強化を図る。</li> <li>・会員増加に向けた広報活動への支援を行う。</li> </ul>
	<p><b>令和3年度の取組計画</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・シルバー人材センター、シニアステーション糀谷との連携強化。</li> <li>・会員増加に向けた取り組みを支援する。</li> </ul>
	<p><b>重点 元気高齢者就労サポート事業 【高齢福祉課】</b></p>
	<p><b>【事業目標】</b></p> <p>高齢者の就労機会の拡大を図るとともに、専門的な知識を得る講義・実習の機会を提供し、多様な働き方や社会参加が選択できるようにします。</p>
	<p><b>令和2年度の主な実施内容</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・介護職員等体験セミナー 新型コロナウイルス感染症拡大の影響により中止。</li> <li>・保育補助員養成講習会 新型コロナウイルス感染症拡大の影響により中止。</li> </ul>
	<p><b>令和2年度の取組計画のふりかえり</b></p> <p>【昨年度記載内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・介護や保育の仕事に対するハードルを下げるプログラムの継続。</li> </ul> <p>【実績・評価】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・なし</li> </ul>
	<p><b>令和3年度の取組計画</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・令和2年度末をもって事業廃止。</li> </ul>

<p>主な事業</p>	<p>地域活動の支援</p>
<p>主な事業の目標</p>	<p>いきいき高齢者入浴事業の実施、シニアクラブへの支援により、高齢者の多様な地域活動を支援します。さらに老人いこいの家の機能の充実やシニアステーション事業の実施により、高齢者の元気維持から介護が必要になった時までの切れ目のない支援を実現します。</p>
<p>計 画 事 業</p>	<p><b>重点</b> いきいき高齢者入浴事業 【高齢福祉課】</p>
	<p><b>【事業目標】</b> 入浴証を発行し、公衆浴場利用料金の一部を区が負担することにより、健康維持や地域でのふれあいを推進し、閉じこもり防止を図ります。</p>
	<p><b>令和2年度の主な実施内容</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>入浴証発行件数（発行件数） 29,099件</li> <li>前年と比較して増加した要因：令和3年度より追加する「ゆ～体験(無料シール)」についてチラシ等により周知徹底したことによる、関心度向上。</li> </ul>
	<p><b>令和2年度の取組計画のふりかえり</b></p> <p><b>【昨年度記載内容】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>事業継続を図りつつ、更新者に加え新規利用者の増加に向けた新方式の整備。</li> </ul> <p><b>【実績・評価】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>新規利用者の増加策として3年度から「ゆ～体験(無料シール)」実施することとし、その制度調整と窓口配布によるチラシでの区民への周知を行った。</li> </ul>
	<p><b>事業実施における課題・解決策</b></p> <p><b>【課題】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>入浴シールの利用率を向上させる工夫が必要。</li> </ul> <p><b>【解決策】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>3年度から追加した「ゆ～体験(無料シール)」の周知徹底し、入浴証について関心を高める。</li> </ul>
	<p><b>令和3年度の取組計画</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>入浴シールの利用率を向上。</li> </ul>
	<p><b>重点</b> シニアクラブの活性化 【高齢福祉課】</p>
	<p><b>【事業目標】</b> シニアクラブへの運営経費補助を通じ、ボランティア活動や健康の増進等、生きがいのある生活のために、高齢者の社会参加を促進します。</p>
	<p><b>令和2年度の主な実施内容</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>クラブ数 154クラブ（2クラブ休会中：前年比2クラブ減）</li> <li>前年と比較して減少した要因：会長の後継者不足によるクラブ廃止。</li> </ul>
	<p><b>令和2年度の取組計画のふりかえり</b></p> <p><b>【昨年度記載内容】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>18の特別出張所に再編された地域シニア会と各特別出張所の連携支援の継続。</li> </ul> <p><b>【実績・評価】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>各特別出張所に対するシニアクラブ会長についての情報共有を通じ、連携を支援した。</li> </ul>
<p><b>事業実施における課題・解決策</b></p> <p><b>【課題】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>シニアクラブにおける役員の後継者不足及び会員数減少。</li> </ul> <p><b>【解決策】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>シニアクラブの運営に関して、あいまいな点や不安に感じている点を聞き取り、各クラブの実情に合わせた支援を行う。</li> </ul>	

計 画 事 業	<p><b>令和3年度の取組計画</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・助成金申請時に適切かつ細やかな指導を実施し、日ごろのシニアクラブ運営について不安に感じている点や疑問点などを明確にしたうえで、指導・支援する。加えて、助成金申請時の会計書類等に不備が多いクラブや希望するクラブに対して、個別説明会等の支援を実施し、シニアクラブ運営における役員の負担軽減に努める。</li> </ul>
	<p><b>重点 生涯現役社会に向けた高齢者の社会参加推進事業 【高齢福祉課】</b></p>
	<p><b>【事業目標】</b></p> <p>団塊の世代等の元気な高齢者が、地域で生きがいを持って活動できるよう支援するとともに、地域における生活支援サービスの担い手を育成します。</p>
	<p><b>令和2年度の主な実施内容</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・おおた生涯現役応援サイトの運営 登録団体 70 団体、人材登録 48 人</li> <li>・おおた生涯現役応援サイトの廃止</li> </ul>
	<p><b>令和2年度の取組計画のふりかえり</b></p> <p><b>【昨年度記載内容】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・フレイル予防と一体的に元気高齢者の地域デビューを支援し、高齢者の社会参加を促進することで生きがい創出に取り組む。生涯現役応援サイトは利用実態や情報提供効果を検証し、今後の運営方法の見直しを図る。</li> </ul> <p><b>【実績・評価】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・生涯現役応援サイトの利用実態や情報提供効果を検証し、今後の運営方法の見直しを図った。</li> <li>・既存事業（社会福祉協議会・シルバー人材センター・大田区 いきいき しごと ステーション実施事業、オーちゃんネット等）の活用・周知を図ったうえ、令和3年3月31日付けで「おおた生涯現役応援サイト」を廃止した。</li> </ul>
	<p><b>令和3年度の取組計画</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・令和2年度末をもって事業廃止。</li> </ul>
	<p><b>重点 老人いこいの家の機能の充実 【高齢福祉課】</b></p>
	<p><b>【事業目標】</b></p> <p>老人いこいの家について、これまでの交流・レクリエーション機能に加え、地域包括支援センターと連携した介護予防拠点としての機能を充実し、元気維持から介護が必要になった時までの切れ目のない支援を実現します。</p>
	<p><b>令和2年度の主な実施内容</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・介護予防拠点としての基盤整備</li> <li>・老人いこいの家を活用した介護予防事業の充実</li> <li>・地域包括支援センターとの連携強化</li> </ul>
	<p><b>令和2年度の取組計画のふりかえり</b></p> <p><b>【昨年度記載内容】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・老朽化している施設の計画的な維持の検討。</li> </ul> <p><b>【実績・評価】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・修繕工事を計画的に実行し、安全・安心な施設保全に努めた。また、危険性のある老朽化したガス管の改修工事を計画的に進めた。</li> </ul> <p><b>事業実施における課題・解決策</b></p> <p><b>【課題】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・健康寿命の延伸に向け、介護予防の取り組みを強化するための検討を要する。併せて、今後の施設のあり方を踏まえた、無駄のない維持補修工事の実施。</li> </ul> <p><b>【解決策】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・施設のあり方を検討し、各施設が担う役割や機能について整理をする。</li> </ul>
<p><b>令和3年度の取組計画</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・有識者等で構成する「老人いこいの家等あり方検討委員会」を立ち上げ、今後の高齢者の居場所づくりや介護予防の方向性を踏まえ、施設のあり方を検討する。</li> </ul>	

計 画 事 業	<b>重点</b> シニアステーション事業 【高齢福祉課】
	<b>【事業目標】</b> 地域包括支援センターと元気高齢者の活動場所を一体的、または連携を強化して運営し、高齢者の元気維持から介護が必要になった時までの切れ目のない支援を提供します。
	<b>令和2年度の主な実施内容</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・シニアステーション馬込及びシニアステーション南馬込の開設に向けた取り組み</li> <li>・既存施設と地域包括支援センターの連携強化の推進</li> </ul>
	<b>令和2年度 of 取組計画のふりかえり</b> <b>【昨年度記載内容】</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・引き続き既存施設と地域包括支援センターとの連携強化の推進に取り組む。</li> </ul> <b>【実績・評価】</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・シニアステーション連絡会を開催し、各シニアステーション同士の連携を図った。</li> <li>・引き続き地域包括支援センターと適宜連携を取りながら事業を実施した。</li> </ul>
	<b>事業実施における課題・解決策</b> <b>【課題】</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域包括支援センターと併設でないシニアステーションとの連携等。</li> </ul> <b>【解決策】</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・引き続きシニアステーション連絡会などでの連携の場を作り、情報共有を図っていく。</li> </ul>
	<b>令和3年度 of 取組計画</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・事業実施計画書をもとにした事業実施。</li> </ul>

施策の方向性：フレイル予防、介護予防・日常生活支援総合事業の充実

<p>主な事業</p>	<p>フレイル予防の普及・啓発、通いの場の確保</p>
<p>主な事業の目標</p>	<p>要支援認定や基本チェックリストに該当しない元気な高齢者に対して、フレイル予防のために必要な要素である「運動・栄養・社会参加」への働きかけを地域ぐるみで普及・啓発していく「おおたフレイル予防事業」を推進していきます。 また、地域の方が担い手の中心となる通いの場を確保し、介護予防を通じた利用者間の交流を促進し、新たな地域づくりへ発展することをめざしていきます。</p>
<p>計 画 事 業</p>	<p><b>重点</b> おおたフレイル予防事業 【高齢福祉課】 (元気シニア・プロジェクトがH30年度で終了。H31/R元年度～名称変更。)</p> <p><b>【事業目標】</b> 高齢者のフレイル（心と体が虚弱になる状態）を予防し、健康寿命を延伸するため、3本の柱としての「運動・栄養・社会参加」に地域で取り組み、元気な高齢者を増やすことをめざします。</p> <p><b>令和2年度の主な実施内容</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>区報やホームページ、区設掲示板等を使い、自宅で出来るフレイル予防の取り組みなど、高齢者の心身の健康維持のための情報発信を実施。</li> <li>「通信型フレイル予防実践講座」を実施。 第1回（11月～12月） 13グループ172人参加 第2回（1月～3月） 13グループ127人参加</li> <li>2月6日、7日にグランデュオ蒲田で「ひと・まち・むすび」展示を実施し、新しい日常での、人と人、地域と人とのつながりを持つ活動事例の紹介やフレイル予防のチラシ、リーフレット等の配布などを行った。</li> <li>3月13日におおた区報「高齢者支援特集号」を発行し、各種介護予防事業やフレイル予防の取り組みあんない、高齢者の社会参加の紹介などを広く周知した。</li> </ul> <p><b>令和2年度の取組計画のふりかえり</b></p> <p><b>【昨年度記載内容】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>東京都健康長寿医療センターとの協働により、日常生活圏域レベル地域ケア会議や既存の会議体等を活用しながら、地域ぐるみのフレイル予防の取組みを推進する。</li> <li>外出自粛や各種の活動中止が長期化する中、フレイルの進行を少しでも軽減するため、情報提供等を通じて「運動」「栄養」「社会参加」の三要素（フレイル予防）の大切さを地域に普及させていく。</li> </ul> <p><b>【実績・評価】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、参集型の講座は行わず、通信型の講座を実施した。</li> </ul> <p><b>事業実施における課題・解決策</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>地域包括支援センター、東京都健康長寿医療センター、東京都理学療法士協会などと連携し、各地区の地域ケア会議などを活用して、地域ぐるみのフレイル予防の取組みを推進する。</li> </ul> <p><b>令和3年度の取組計画</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>地域にフレイル予防の三要素「運動・栄養・社会参加」が充足される活動が広がるよう、フレイル予防に関する情報発信を行っていく。</li> <li>各地区の自主グループ等の活動に、フレイル予防の取組の情報を効果的に結びつけていくため、フレイル予防リーダー養成講座、実践講座を実施する。</li> </ul>

計 画 事 業	<b>重点 介護予防の普及・啓発（一般介護予防事業）【高齢福祉課・地域健康課】</b>
	<b>【事業目標】</b> 高齢者が介護予防に取り組むきっかけとなるとともに、活動の継続を促進するため、体操教室等の介護予防講座を実施します。
	<b>令和2年度の主な実施内容</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・介護予防普及啓発事業 延 39,609 人</li> <li>・介護予防講座（計画目標 延 2,045 人） 実績 延 0 人</li> <li>・目標と比較して減少した要因：新型コロナウイルス感染症拡大の影響により中止。</li> <li>・口腔機能向上 講演会 0 人（前年比 73 人減）、</li> <li>・口から始める健康講座 延 0 人（前年比 723 人減）</li> <li>・栄養への意識付け 講演会 0 人（前年比 41 人減）、</li> <li>・シニアの食生活講座 延 0 人（3日制）、延 0 人（1日制） （前年比 416 人減）</li> </ul>
	<b>令和2年度の実施計画のふりかえり</b> <b>【昨年度記載内容】</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・外出自粛や各種の活動中止が長期化する中における、介護予防普及啓発事業のあり方を考えながら取り組んでいく。</li> </ul> <b>【実績・評価】</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、年度当初事業を中止せざるを得なかったが、6月以降、感染症対策を十分に講じたうえで事業を再開した。</li> <li>・時間ごとに分けて複数回実施にするなど、極力参加人数を減らさない工夫をした。</li> <li>・新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、健康政策部実施の事業は中止した。</li> <li>・大田区ホームページ「口腔機能の維持・向上でお口の機能をアップしましょう」を掲載し、東京都の動画をリンクし、口腔機能向上について周知を行った。</li> <li>・シニアの食生活講座は、個別相談として実施した。</li> </ul>
	<b>事業実施における課題・解決策</b> <b>【課題】</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・新型コロナウイルス感染症影響下での事業実施方法、内容について検討が必要。</li> </ul> <b>【解決策】</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・集団における感染症対策を徹底した事業実施。</li> <li>・参集型事業の代替えとして個別相談での事業実施。</li> </ul>
	<b>令和3年度の実施計画</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・オンライン環境を活用した交流促進事業、スマートフォン教室を実施し、ICT機器を活用した高齢者の心身の健康維持、社会参加の支援に取り組んでいく。</li> <li>・感染症対策を十分に講じたうえで、少人数に分けて、交代制で行うなど事業の工夫をしていく。</li> <li>・講演会は中止。シニアの食生活講座を個別相談で実施。集団での講座については、シニアの食生活講座、口腔機能向上講座とも、感染の状況をみながら開始していく。</li> </ul>
	<b>重点 地域の担い手育成及び通いの場の確保（一般介護予防事業）</b>
	<b>【高齢福祉課】</b>
	<b>【事業目標】</b> 介護予防事業の担い手となる介護予防ボランティア地域の高齢者施設、通いの場等で活用し、ボランティア活動を通して自身の介護予防に資することを目的とします。
	<b>令和2年度の主な実施内容</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域介護予防活動支援事業 延 1,148 人</li> </ul>
<b>令和2年度の実施計画のふりかえり</b> <b>【昨年度記載内容】</b> ・外出自粛や各種の活動中止が長期化する中、地域の担い手が地域との結びつきを保つ方策の検討。	

計 画 事 業	<p>【実績・評価】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・特別養護老人ホーム大田翔裕園、特別養護老人ホーム蒲田、上池台高齢者在宅サービスセンターでボランティアを活用。</li> <li>・一般介護予防事業（公園体操、いきいきシニア体操、音楽にのせてフィットネス、膝痛・腰痛ストップ体操）でボランティアを活用。</li> </ul>
	<p>事業実施における課題・解決策</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ボランティア希望者のニーズと、受け入れ施設とのマッチングを通じて、地域の高齢者のボランティアへの意欲を支えていく。</li> <li>・通いの場の介護予防事業にボランティアを活用して、通いの場で高齢者が役割を持って活躍出来るようボランティア活動を促進していく。</li> </ul>
	<p>令和3年度の取組計画</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・高齢者自身の生きがいや健康維持につながる地域のボランティア活動など、高齢者の社会参加を促進していく。</li> </ul>
	<p><b>重点 認知症予防の促進（一般介護予防事業） 【高齢福祉課】</b></p>
	<p>【事業目標】</p> <p>日常生活において、認知症を予防するための講座や体操を実施します。</p>
	<p>令和2年度の主な実施内容</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・認知症予防講座 延 62 人</li> <li>・認知症予防体操 延 629 人</li> <li>・認知症予防室内ウォーク 延 80 人</li> <li>・認知症予防朗読講座 延 121 人</li> </ul>
	<p>令和2年度の取組計画のふりかえり</p> <p>【昨年度記載内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・外出自粛や各種の活動中止が長期化する中、引き続き認知症予防事業を進めていく。</li> </ul>
	<p>【実績・評価】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、年度当初事業を中止せざるを得なかったが、6月以降、感染症対策を十分に講じたうえで、事業を再開した。</li> </ul>
	<p>事業実施における課題・解決策</p> <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、大人数による参集型の事業実施が困難になっている。</li> </ul> <p>【解決策】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・少人数に分けて、交代制にできるところは時間ごとに分けて実施するなどの工夫をする。</li> </ul>
	<p>令和3年度の取組計画</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・感染症対策を十分に講じたうえで、少人数に分けて、交代制で行うなど工夫をして、高齢者の認知症予防に取り組んでいく。</li> </ul>

<p>主な事業</p>	<p>介護予防・生活支援サービスの取組強化</p>
<p>主な事業の目標</p>	<p>大田区の「介護予防・日常生活支援総合事業」では、高齢者自身の力で生活を営むことができ、その人らしい生活を送っていただけるよう、最大限本人の力や強みを生かし、自立に向けた介護予防の取組をサポートしていきます。</p> <p>また加えて、「介護予防応援評価事業」の実施により、自立・改善に向けた介護予防の取組を評価し、介護予防サービス提供事業者による質の高いケアの実現と利用者の取組意欲を醸成し、大田区に高齢者の自立をめざす取組を広げていきます。</p>
<p>計画事業</p>	<p><b>重点</b> 介護予防・生活支援サービス事業による自立支援 【高齢福祉課】</p>
	<p><b>【事業目標】</b> 要支援者や基本チェックリストによる事業対象者に対して、地域包括支援センター等によるケアマネジメントに基づき、訪問型サービスや通所型サービスなどを実施し、高齢者の自立をめざします。</p>
	<p><b>令和2年度の主な実施内容</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・訪問型サービス <ul style="list-style-type: none"> <li>生活力アップサポート 9,462人 50,376回（前年比 1,537人減 8,200回減）</li> <li>絆サポート（ボランティア） 2,033人 7,496回（前年比 1,191人増 4,505回増）</li> <li>元気アップリハ 113人 619回（前年比 95人減 441回減）</li> </ul> </li> <li>・通所型サービス はつらつ体力アップサポート及びいきいき生活機能アップサポート 20,842人 122,822回（前年比 4,902人減 27,963回減）</li> <li>・前年と比較して増減した要因： <ul style="list-style-type: none"> <li>生活力アップサポート 新型コロナウイルス感染症拡大の影響。</li> <li>絆サポート 社会福祉協議会実施事業との統合及び事業の周知。</li> <li>元気アップリハ 新型コロナウイルス感染症拡大の影響。</li> <li>通所型サービス 新型コロナウイルス感染症拡大の影響。</li> </ul> </li> </ul>
	<p><b>令和2年度の取組計画のふりかえり</b></p> <p><b>【昨年度記載内容】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・研修等を通じて、サービス提供事業者に区の総合事業の考え方を浸透させる。</li> <li>・大田区絆サービス（令和2年度から「絆サポート」）の広報を強化し、担い手の拡充に取り組む。</li> </ul> <p><b>【実績・評価】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・研修等を通じて、サービス提供事業者に区の総合事業の考え方を浸透させた。</li> <li>・絆サポートの広報を強化し、担い手の拡充に取り組んだ。</li> <li>・新型コロナウイルス感染症拡大により中止した事業者向け総合事業研修会に変えて、「総合事業ガイドブック」の作成に取り組んだ。</li> <li>・感染症対策を講じた上で完全予約制として絆サポートの担い手登録説明会を実施し担い手の拡充に取り組んだ。また、効果的、効率的な運営を図るため、委託先を社会福祉協議会に統一した。</li> </ul> <p><b>事業実施における課題・解決策</b></p> <p><b>【課題】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・サービス提供事業者のスキルアップ。</li> <li>・新型コロナウイルス感染症拡大下における安定した事業運営。</li> </ul>

計 画 事 業	<p><b>【解決策】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>実績数値を検証した上で、地域包括支援センターやサービス提供事業者等の意見を聴取、検討する。</li> </ul>
	<p><b>令和3年度の取組計画</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>事業実績を分析し、課題を抽出したうえで、さらなる効果的、効率的な運営に向けて検討を進める。</li> </ul>
	<p><b>重点 介護予防応援評価事業 【高齢福祉課】</b></p>
	<p><b>【事業目標】</b></p> <p>利用者本人とサービス提供事業者が一体となって利用者自ら日常生活で「できる」ことを増やしていくための取組を評価する仕組みを導入し、事業者の取組意欲の向上や、より質の高いケアの提供を図ることで、大田区における介護予防の取組を推進します。</p>
	<p><b>令和2年度の主な実施内容</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>第1期事業の参加・不参加事業所に対するアンケート調査（210事業所）</li> <li>第2期事業に向けて事業検討会を実施。</li> <li>新型コロナウイルス感染症拡大の影響により中止となった第1期事業の優秀事例発表会に変えて、優秀チーム事例広報動画（DVD）を作成。</li> </ul>
	<p><b>令和2年度の取組計画のふりかえり</b></p> <p><b>【昨年度記載内容】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>第1期事業の参加者、不参加者の意向調査（アンケート）の実施。</li> </ul> <p><b>【実績・評価】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>第1期事業の参加・不参加事業所に対する事業のアンケート調査は、参加事業所のうち37事業所、参加しなかった事業所の85事業所からの回答を得ることができた。</li> <li>アンケート結果を受けて検討会を実施し、主な課題を整理した。</li> <li>第1期の優秀事例の取組内容について、わかりやすくまとめたDVD動画を作成し、各介護事業所に配布し周知した。</li> </ul>
	<p><b>事業実施における課題・解決策</b></p> <p><b>【課題】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>エントリー及び申請時の提出書類に関すること。</li> <li>実施内容、評価内容及び評価手法に関すること。</li> <li>報奨制度（インセンティブ）について。</li> <li>事業の広報に関すること。</li> </ul> <p><b>【解決策】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>第2期事業検討会において、上記課題について検討する。</li> </ul>
	<p><b>令和3年度の取組計画</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>令和2年度に引き続き課題の抽出・検討を進めたうえで、令和4年度の第2期事業実施に向けた準備に取り組む。</li> <li>優秀チーム事例広報動画については、第2期事業実施に向けた広報活動として活用するとともに、参加事業所のインセンティブに繋がるため、今後も作成する方向で検討する。</li> </ul>
	<p><b>重点 自立に資する介護予防ケアマネジメント 【高齢福祉課】</b></p>
	<p><b>【事業目標】</b></p> <p>地域包括支援センターを中心に自立に向けた目標設定、アプローチを可能にするために、利用者へのケアマネジメント力の強化を図り、自立支援を推しすすめることを目的とします。</p>

計 画 事 業	<p><b>令和2年度の主な実施内容</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・総合事業ケアマネジメントマニュアルを更新。(5月)</li> <li>・新型コロナウイルス感染症拡大の影響により中止した居宅介護支援事業所向けの研修会に変えて、「総合事業ガイドブック」の作成に取り組んだ。</li> </ul>
	<p><b>令和2年度 of 取組計画のふりかえり</b></p> <p>【昨年度記載内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・引き続き、居宅介護支援事業所向けの研修等を通じて、地域包括ケアシステム及び自立支援の考え方の更なる周知を図る。</li> </ul> <p>【実績・評価】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・総合事業ガイドブックの作成においては、地域包括支援センター職員による総合事業検討会のメンバーに協力をお願いし、意見を取り入れながら編集を行った。</li> </ul>
	<p><b>事業実施における課題・解決策</b></p> <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・感染症対策を講じた研修等のあり方。</li> </ul> <p>【解決策】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・オンラインを取り入れた研修会を検討する。</li> </ul>
	<p><b>令和3年度 of 取組計画</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・令和3年度は、総合事業検討会のメンバーに引き続き協力を得ながら、「総合事業ガイドブック」の完成をめざす。</li> <li>・オンラインを取り入れた研修会の実施について検討する。</li> </ul>

## 基本目標 2 高齢者が地域で包括的なケアを受け、 安心して暮らせるまちをつくります

施策の方向性：安心して暮らし続けるための支援と連携の充実

主な事業	<b>地域包括支援センターを中核とした 地域包括ケアシステムの推進</b>
主な事業 の目標	地域包括支援センターは、高齢者の総合的な相談・支援の窓口であり、地域包括ケアシステムの深化・推進を中核となってすすめていく機関として、個別の高齢者の支援に加え、生活支援の体制整備等により、高齢者を支える地域づくりを担います。このため、大田区の地域力推進の拠点である特別出張所との連携を強化するための配置をすすめるとともに、相談支援機能を中心としたサービスの質を向上させるための取組をすすめます。
計 画 事 業	<b>重点 地域包括支援センターの適正配置 【高齢福祉課】</b>
	【事業目標】 地域包括ケアシステムの中核となる地域包括支援センターについて、地域力の拠点である特別出張所との連携を強化するための適正な配置をすすめます。
	令和2年度の主な実施内容 ・地域包括支援センター入新井を移転。 ・地域包括支援センター大森の移転に向けた改修工事等。
	令和2年度の取組計画のふりかえり 【昨年度記載内容】 ・地域包括支援センター入新井の暫定移転と他地区の再配置の検討、準備を引き続き行う。 【実績・評価】 ・地域包括支援センターの適正配置に向けて検討を行った。
	事業実施における課題・解決策 【課題】 ・新設及び運営法人選定から5年が経過する地域包括支援センターにおいて、選定事務手続きの見直しを検討する。 【解決策】 ・運営法人選定から3～4年後に、中間評価を行う。
	令和3年度の取組計画 ・蒲田西地区の地域包括支援センターとシニアステーションについて、運営する法人の選定の実施にむけ準備を進める。
	<b>重点 地域包括支援センターの質的向上 【高齢福祉課・地域福祉課】</b>
	【事業目標】 地域包括ケアシステムの中核となる地域包括支援センターについて、総合相談機能とともに、高齢者を支える地域づくりの力の向上を図ります。
	令和2年度の主な実施内容 ・機能アップ3か年計画の実施（2年目） ・区による包括のヒアリング評価 ・取組事例発表会の実施 参加者 44人 ・その他新任職員研修等の実施 参加者 116人

- ・弁護士による法務支援の実施 40件
- ・評価を通じたレベルアップ支援。
- ・基本圏域ごとの地域包括支援センター連絡会、見守りささえあいコーディネーター会を通じた区及び包括間の情報共有、絆サービス事業等の検証を協働で行った。

**令和2年度の取組計画のふりかえり**

**【昨年度記載内容】**

- ・事業計画書に記載した「機能アップ3か年計画・2年目実施計画」の進捗確認。
- ・地域包括ケアシステムの構築に向けた連携・調整。
- ・連絡会等を通じ、包括が抱える課題の共有や解決に向けた支援。
- ・高齢福祉課による評価の実施及び取組事例発表会の実施。

**【実績・評価】**

- ・包括職員を中心メンバーとする地域包括支援センター内部検討会等の場を通じて、包括が抱える課題の共有・解決へ向けた取り組みを行った。
- ・新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、会議等の開催が制限され、スムーズな連携やタイムリーな情報共有が難しかった。その中で、包括評価時や事業報告書等から計画の進捗状況を確認し、適宜助言を行った。
- ・手紙、オンライン等、感染症対策をしながらのつながりづくりを支援した。評価及び取組事例発表会でも、こうした視点で包括の気づきを促した。

**事業実施における課題・解決策**

**【課題】**

- ・「機能アップ3か年計画」進捗管理
- ・地域包括支援センター職員の人材確保
- ・新型コロナウイルス感染症拡大の影響により包括が直面している課題や困りごとなどの情報を、どのように入手し、支援するか。

**【解決策】**

- ・運営法人に対して、人材確保へ向けて適宜状況を確認する。
- ・できるだけタイムリーな情報の共有を図るため、電話のほかに、web(オンライン)による情報共有を行う。
- ・オンライン形式の会議を開催する。

**令和3年度の取組計画**

- ・事業計画書に記載された「機能アップ3か年計画」の「最終年」における進捗の確認と支援を行う。
- ・地域包括ケアシステムの構築に向けた連携・調整を行う。
- ・地域包括支援センター内部検討会等を通じ、包括が抱える課題の共有や解決に向けた支援を行う。
- ・地域包括支援センターの事業評価の実施（実施方法の見直し検討を含む）及び福祉講演会を実施する。
- ・連絡会等の会議を、新型コロナウイルスの感染拡大状況に応じた方法で開催し、課題の共有と解決に向けた支援を行う。

**重点 地域ケア会議の実施 【高齢福祉課・地域福祉課】**

**【事業目標】**

高齢者の在宅生活を支えるため、関係機関と連携した課題解決のための地域ケア会議を開催します。

**令和2年度の実施内容**

- ・自立支援計画作成に向けた個別レベル会議の実施
- ・日常生活圏域レベル会議を8地区で実施
- ・基本圏域レベル会議を4地域福祉課で実施
- ・個別レベル会議 74回  
(大森：34回 調布：10回 蒲田：23回 糀羽：7回)

- ・日常生活圏域レベル会議 21回  
(大森：0回 調布：14回 蒲田：1回 糀羽：6回)
- ・基本圏域レベル会議 4回  
(大森：1回 調布：1回 蒲田：1回 糀羽：1回)
- ・区レベル会議 5回

**令和2年度の取組計画のふりかえり**

**【昨年度記載内容】**

- ・地域ケア会議実施計画を踏まえ、確実に各レベルの会議を実施し、地域課題の解決につなげる。
- ・区レベル会議で検討されたテーマの具体化や、区レベル会議へ地域課題を挙げていくことについて、検討を進める。

**【実績・評価】【縮小】**

- ・新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、個別・日常生活・基本圏域の地域ケア会議開催回数が前年度比の約半数になった。特に、町会や自治会・民児協等の会議が中止になる中、特別出張所圏域で行う日常生活圏域レベル地域ケア会議の開催が困難だった。その中で、オンラインによる会議、同じテーマで複数回に分けた少人数の会議等を検討し年度後半の実施につなげた地域があり、令和3年度の会議開催方法のモデルを作った。

**事業実施における課題・解決策**

**【課題】**

- ・地域ケア会議の体系（個別・圏域・区）を通じたPDCAサイクルが十分に確立されていない。
- ・新型コロナウイルス感染症影響下で、地域での会議開催状況に左右される各レベル地域ケア会議をどのように実施するか。

**【解決策】**

- ・関係機関との連携強化を図り、多職種が協働しながら、個人や地域が抱える課題を発見し解決に向けた検討を実施する。
- ・地域活動の開催状況を見ながら、地域包括支援センターや関係機関と会議開催のタイミング等に向けた協議を進める。また、地域ケア会議実施計画を踏まえ、多様な会議の開催方法を検討、実施する。

**令和3年度の取組計画**

- ・引き続き、個別課題の検討から地域の共通課題を発見し、解決に向けた検討を進める。
- ・個人情報取り扱いに留意しながらオンラインによる会議を開催する。
- ・各レベルの地域ケア会議で抽出・整理された課題を区レベル会議へ提出、という流れを確立するため、関係機関との協議を進める。

**重点 生活支援サービスの体制整備【福祉管理課・高齢福祉課・地域福祉課】**

**【事業目標】**

高齢者の在宅生活を支えるため、ボランティア、NPO、民間企業、社会福祉法人、協同組合等の多様な事業主体による重層的な生活支援サービスが提供される体制を整備します。

**令和2年度の主な実施内容**

- ・地域支えあい強化推進員、見守り支えあいコーディネーター及び大田区社会福祉協議会の地域福祉コーディネーターが連携し、生活支援コーディネート業務を実施。
- ・地域アセスメント等から課題に対する解決策の立案・事業実施の支援。(例：糀谷地区で「みんなのねがい」千羽鶴ハッピー大作戦」実施、大森西地区で「げんきになる木でつながろう」プロジェクト実施など)

- ・「新型コロナウイルス感染症拡大に伴う住民主体のグループ活動の状況に関する実態調査」の実施。
- ・社会資源情報を地域包括支援センターで収集し、地域ケア情報見える化サイト「ミルモネット」に集約。
- ・地域包括ケアシステムの深化・推進に向けたコーディネーター研修の実施 5回
- ・ミルモネット操作研修の実施 4回

#### 令和2年度 of 取組計画のふりかえり

##### 【昨年度記載内容】

- ・地域福祉を推進する各コーディネーターの役割を整理し効果的な連携を図る。
- ・地域情報の収集体制を整理し、ミルモネットの充実を図り利用率の向上に努める。
- ・フレイル予防の普及啓発を進めることを通じ、地域の通いの場や集まりを増やすことで、互助への関心を高める。
- ・見守りささえあいコーディネーター、強化推進員、社会福祉コーディネーター等が地区の目標を共有し、連携してシステム構築に取り組むことにより各々の役目を確認する。

##### 【実績・評価】

- ・新型コロナウイルス感染症拡大の影響により中止となった「フレイル予防リーダー養成講座」の代替案を元気高齢担当と健康長寿医療センターが企画し、地域福祉課・強化推進員・包括の協働により「通信型 フレイル予防リーダー養成講座」を実施した。
- ・包括や地域の関係機関との連携により、集まれなくてもつながれる社会参加の仕組みづくりを検討し、地域特性に応じた取り組みを進めた。
- ・各地域福祉課の見守りささえあいコーディネーター連絡会に、強化推進員、地域福祉コーディネーターも出席し、各地区での活動状況や情報の共有と、地域づくりの連携強化を図った。
- ・新型コロナウイルス感染症拡大の影響により軒並み地域活動等が中止・延期、実施方法の変更等が生じたため、当初想定していた活動ができない場面が多かったが、改めて課題の変化に応じた支援のあり方に気付けた。
- ・各地区で、見守りささえあいコーディネーター、強化推進員、地域福祉コーディネーター等が定期的に集まり、課題や情報の連携を図りながら取り組むことができた。
- ・新型コロナウイルス感染症拡大下において、人と人とのつながりが薄れる中、離れていてもつながるをテーマに、各地でイベントを企画立案、事業実施の支援等を行うことができた。

#### 事業実施における課題・解決策

##### 【課題】

- ・新型コロナウイルス感染症拡大下でも活動を継続するためのオンラインの活用など、柔軟に対応できるための備えを検討する。
- ・令和3年度、地域ささえあい強化推進員の執務場所が社会福祉協議会に変更となることにより、各基本圏域での活動(地域づくりやフレイル予防)をこれまで通り継続できるか。
- ・新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、高齢者が自宅にこもりがちになり動かなくなることでフレイルや要介護状態に陥りやすくなっている。
- ・新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、地域活動や自主グループの活動が休止しており、再開に向けた支援が必要である。また、活動が出来ないことにより、支えあいの機運が高めづらい。

計 画 事 業	<p><b>【解決策】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・新型コロナウイルスの感染拡大状況を踏まえたフレイル予防の取り組みを検討、実践する。具体的には屋外の活動、少人数による参集型、通信講座、はねびょん健康ポイントアプリ、Web会議等様々な手法を活用する。</li> <li>・これまでの活動が衰退しないよう、スマホやweb会議システムなどの情報通信機器を活用した新しい生活様式に対応できるよう活動を支援していく。</li> <li>・地域課題に対して多様な主体が支援に参画できるよう、協議体などの話し合いの場を生み出していく。</li> </ul>
	<p><b>令和3年度の取組計画</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・身近な通いの場を拡大するため、各地域に定着した活動を続けられるよう、リーダー養成を行う。</li> <li>・地域包括支援センターが、フレイル予防のための取り組みとしてWeb会議を主催する際の個人情報取り扱いの課題について調整する。</li> <li>・各コーディネーターや地域の関係機関と連携しながら地域の声や活動状況を把握するとともに、地域特性に応じた取り組みを進める。</li> <li>・地域支えあい強化推進員と大田区社会福祉協議会の地域福祉コーディネーターの連携をさらに強化し、第8期高齢者施策推進プランで掲げる「地域包括ケアシステムのさらなる推進」に向けて、地域共生社会の実現を見据えた地域アセスメントをもとに、多様な事業主体による重層的な生活支援サービスが提供されるよう働きかけていく。</li> <li>・ミルモネットの更なる活用の推進。</li> </ul>
	<p><b>高齢者ほっとテレフォンの実施 【高齢福祉課】</b></p>
	<p><b>【事業目標】</b></p> <p>高齢者や家族等から、区役所が閉庁している夜間・休日の相談窓口として、高齢者ほっとテレフォンによる電話相談を実施します。</p>
	<p><b>令和2年度の主な実施内容</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・相談件数 1,439件（前年比 353件増）</li> <li>・前年と比較して増加した要因：新型コロナウイルス感染症影響下における心身状態の不安等に係る相談がよせられたのではないかと考えられる。</li> <li>・区報、ホームページ、統合ポスターへの掲載、区内関係機関等へのチラシ配布による事業周知及び利用促進</li> </ul>
	<p><b>令和2年度の取組計画のふりかえり</b></p> <p><b>【昨年度記載内容】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・更なるPRの機会を増やす等検討していく。</li> </ul> <p><b>【実績・評価】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・区の広報媒体を有効に活用し、事業周知に取り組むことができた。</li> </ul>
	<p><b>事業実施における課題・解決策</b></p> <p><b>【課題】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・より一層の多くの区民の方等への事業周知すること。</li> </ul> <p><b>【解決策】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・関係機関や介護事業者等への周知も継続し、より広く区民の方への浸透を図る。</li> </ul>
	<p><b>令和3年度の取組計画</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・更なる事業周知の機会を増やす等継続して検討する。</li> </ul>

<p>主な事業</p>	<p>見守り・支え合い、家族介護者への支援による高齢者の在宅生活継続への支援</p>
<p>主な事業の目標</p>	<p>支援や介護が必要となっても地域で暮らし続けられるよう、民生委員、自治会・町会、事業所等の連携を強化し、きめ細やかに見守りを続けられるネットワークの充実に取り組みます。また、家族介護者ホームヘルパーの派遣等の事業により、在宅介護を支えるとともに、家族介護者の負担を軽減します。</p>
<p>計 画 事 業</p>	<p><b>重点 高齢者見守りネットワーク事業の充実 【高齢福祉課】</b></p>
	<p><b>【事業目標】</b>          高齢者の見守りに関するセミナーを開催することなどにより、普及啓発に努めるとともに、関係機関との連携を図り、地域での見守り体制の整備を支援します。</p>
	<p><b>令和2年度の主な実施内容</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・見守りキーホルダー事業の推進 登録者数 35,765 人（前年比 393 人減）</li> <li>・前年と比較して減少した要因：新型コロナウイルス感染症拡大下で、登録者に対し電話で登録内容の確認をしたことにより入所等の状況把握が進み、廃止者が増えたため。</li> <li>・地域でのセミナー等の開催 7 件（前年比 428 件減）</li> <li>・見守り推進事業者との連携 登録事業者数 158 事業者（前年比 1 事業者増）</li> <li>・前年と比較して増減した要因：新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、対面でのセミナー実施が難しかったため。</li> <li>・関係機関との連携検討、実施</li> <li>・日常生活圏域ごとの連携、推進</li> </ul>
	<p><b>令和2年度の取組計画のふりかえり</b></p> <p><b>【昨年度記載内容】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・見守り支援体制の検討。</li> </ul> <p><b>【実績・評価】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・感染症対策を講じながら、電話での見守りキーホルダーの更新勧奨や見守り推進事業者との情報共有を行い、高齢者の見守り体制を確保することができた。</li> </ul>
	<p><b>事業実施における課題・解決策</b></p> <p><b>【課題】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・見守りキーホルダーの更新率が低い。</li> </ul> <p><b>【解決策】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・引き続き事業の周知に努め、地域のセミナー等を活用して更新の勧奨を行っていく。</li> </ul>
	<p><b>令和3年度の取組計画</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・見守りキーホルダーの登録・更新の勧奨</li> <li>・見守り推進事業者との連携</li> <li>・事業周知チラシ等の作成</li> </ul>
<p><b>消費者被害防止の推進 【地域力推進課】</b></p>	
<p><b>【事業目標】</b>          高齢者の消費者被害の未然・拡大防止のため、高齢者の見守りネットワークの一環として、見守り関係者・関係機関との情報交換を継続的に行い、消費者相談・福祉サービス支援につなげていきます。</p>	
<p><b>令和2年度の主な実施内容</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・防災危機管理課、高齢福祉課との庁内連携（三課連携）会議 2 回</li> <li>・老人いきいの家啓発 5 か所</li> <li>・地域力推進地区委員会での啓発 18 か所</li> <li>・民生委員から依頼の出張啓発 1 か所</li> <li>・ひとり暮らし高齢者未登録者調査リーフレット配付 4,600 部</li> </ul>	

- ・高齢者見守り推進事業者連絡会（新型コロナウイルス感染症拡大の影響により中止）代替としてリーフレット郵送 157部
- ・介護保険事業者連絡会（新型コロナウイルス感染症拡大の影響により中止）代替として大田区ケア倶楽部への資料搭載
- ・区内警察署へ自動通話録音機配布と一緒に啓発用マグネットの配布を依頼 2,500個
- ・消費者相談 地域包括支援センターとの連携

**令和2年度の取組計画のふりかえり**

【昨年度記載内容】

- ・消費者相談の中で福祉サービス支援が必要と思われる高齢者については、地域包括支援センターと相互連携がとれるようになってきており、情報共有により、さらに連携を拡充させていく。

【実績・評価】

- ・地域包括支援センターとの連携拡充について、当センターから連携を依頼するだけでなく地域包括支援センターからの相談や情報提供が入るケースが増え、消費者被害の未然防止にも繋がっていることから、今後も継続して取り組む。

**事業実施における課題・解決策**

【課題】

- ・新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、大人数を集めた対面での啓発を行うことが難しくなっている。

【解決策】

- ・ホームページやSNS等を活用し情報提供を行う。一方で、感染症対策を徹底しながら、対面での啓発も継続する。

**令和3年度の取組計画**

- ・防災危機管理課、高齢福祉課との庁内連携（三課連携）による講演会等を開催する。
- ・老人いこいの家等での高齢者を対象にした啓発事業を実施する。
- ・ひとり暮らし高齢者未登録者調査時に消費者被害防止リーフレットを配付する。
- ・地域包括支援センター連絡会や高齢者見守り推進事業者連絡会等見守り関係者との情報交換を行い消費者被害の未然・拡大防止に取り組む。

**高齢者見守り強化策としての熱中症予防事業**

**【高齢福祉課・地域福祉課・地域力推進課・特別出張所】**

【事業目標】

高齢者見守りネットワークの重点事業として、発症リスクの高い高齢者を対象とした熱中症予防対策事業を展開し、見守りの強化と周知に努めます。

**令和2年度の主な実施内容**

- ・民生委員による訪問指導 約15,000件（前年比1,000件減）
- ・地域包括支援センター職員、地域福祉課職員による訪問指導 394件（前年比4,606件減）
- ・前年と比較して減少した要因：新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、対面での啓発を制限したため。
- ・老人いこいの家・区民センター等を活用したセミナー開催 0回
- ・クールスポット設置 計55か所  
（老人いこいの家、シニアステーション、特別出張所、区民センター、文化センター）

**令和2年度の取組計画のふりかえり**

【昨年度記載内容】

- ・引き続き、ひとり暮らし高齢者に対する個別訪問を行い、熱中症予防の普及啓発のみならず、介護予防や孤立予防につなげていく。
- ・今年度も引き続き、クールスポットを設置する。

計 画 事 業	<p>【実績・評価】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・啓発物品等の配付は、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、対面ではなくポスティングにより実施した。</li> <li>・クールスポットは、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、対象施設を区の施設のみに限定して実施した。</li> </ul>
	<p>事業実施における課題・解決策</p> <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・熱中症予防啓発の対象者が幅広く、本当に啓発が必要な高齢者を確認することが難しい。</li> <li>・より効果的な熱中症予防啓発物品の検討。</li> </ul> <p>【解決策】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・訪問対象者や啓発物品について再検討しながら、引き続き高齢者の熱中症予防啓発を実施し、孤立死等の予防につなげていく。</li> </ul>
	<p>令和3年度の取組計画</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・熱中症予防啓発の対象者や啓発物品について、再検討する。</li> <li>・民生委員・地域包括支援センターに、ひとり暮らし高齢者登録者のエアコン使用状況に関する一覧の配布を実施する。</li> </ul>
	<p>ひとり暮らし高齢者支援事業 【高齢福祉課】</p>
	<p>【事業目標】</p> <p>ひとり暮らしの高齢者を申請に基づき区に登録することにより、生活状況を把握し、見守りに活用し、ひとり暮らし高齢者の在宅生活を支えます。</p>
	<p>令和2年度の主な実施内容</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・登録者数 14,225人（前年比 286人減）</li> <li>・前年と比較して減少した要因：新型コロナウイルス感染症拡大の影響による、新規登録者数の減少。</li> <li>・ふれあい理美容補助券 利用枚数 延7,095枚（前年比 457枚減）</li> <li>・前年と比較して減少した要因：新型コロナウイルス感染症拡大の影響による利用減少。</li> </ul>
	<p>令和2年度の取組計画のふりかえり</p> <p>【昨年度記載内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・見守り体制の検討。</li> </ul> <p>【実績・評価】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、本人宅に訪問し、安否確認を行うことが困難であったため、ひとり暮らし登録の一覧リストを作成し、地域包括支援センター職員から電話による安否確認を行った。また、一部地域の民生委員からも同様の手段で安否確認を行ったことにより、本人連絡先・緊急連絡先の情報更新がなされた。</li> </ul>
	<p>事業実施における課題・解決策</p> <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・見守りキーホルダーと違い、年一度の更新手続きがないため、本人連絡先・緊急連絡先がすでに変更されているにも関わらず、変更になっていない状況が散見される。</li> </ul> <p>【解決策】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・他自治体のひとり暮らし高齢者事業（変更）の好事例を参考に制度の見直しを図る。</li> <li>・見守りキーホルダーと事業統合を図るなど検討を行う。</li> </ul>
	<p>令和3年度の取組計画</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・民生委員・地域包括支援センターに、ひとり暮らし高齢者登録者のエアコン使用状況に関する一覧の配布を実施する。</li> </ul>

高齢者在宅生活支援事業 【地域福祉課】

【事業目標】

在宅の要介護高齢者に対し、介護サービス以外のニーズに応じ、安心できる在宅生活を支えます。

令和2年度の主な実施内容

・要介護高齢者支援事業

出張理髪利用件数 延 771 件（前年比 75 件減）

出張美容利用件数 延 639 件（前年比 3 件増）

寝台自動車利用件数 延 780 件（前年比 163 件減）

健康回復利用件数 延 233 件（前年比 27 件増）

前年と比較して増減した要因：新型コロナウイルス感染症の影響により利用が減少したため

・ねたきり高齢者等寝具乾燥事業

乾燥消毒 計 177 枚（前年比 97 枚減）

（大森 94 枚 調布 45 枚 蒲田 26 枚 糞羽 12 枚）

水洗い 計 31 枚（前年比 37 枚減）

（大森 16 枚 調布 7 枚 蒲田 6 枚 糞羽 2 枚）

前年と比較して減少した要因：死亡による廃止、利用していない理由による辞退等。

・緊急通報システム事業

利用世帯数 計 116 世帯（前年比 11 世帯減）

（大森 41 世帯 調布 17 世帯 蒲田 20 世帯 糞羽 38 世帯）

前年と比較して減少した要因：大きな増減はなし。高齢化に伴う需要増に対応していく必要がある。

・火災安全システム事業

利用世帯数 計 0 世帯（前年比 1 世帯減）

（大森 0 世帯 調布 0 世帯 蒲田 0 世帯 糞羽 0 世帯）

前年と比較して減少した要因：大きな増減はなし。実績に伴いシステムの変更にて対応していく。

・紙おむつ等支給事業

現物延人数 計 80,590 人（前年比 335 人増）

（大森 23,579 人 調布 20,925 人 蒲田 24,277 人 糞谷 11,809 人）

現金延人数 計 3,733 人（前年比 155 人増）

（大森 1,153 人 調布 726 人 蒲田 1,293 人 糞谷 561 人）

前年と比較して増加した要因：対象者数増加。

・補聴器購入費助成事業

助成件数 計 80 件（前年比 6 件増）

（大森 36 件 調布 16 件 蒲田 11 件 糞羽 17 件）

前年と比較して増加した要因：大きな増減はなし。高齢化に伴う需要増に対応していく必要がある。

令和2年度の取組計画のふりかえり

【昨年度記載内容】

- ・各事業の一層の周知だけでなく、利用できる他制度がある場合には、利用へつなげられるように関係部署との連携をはかる必要がある。

計 画 事 業	<p>【実績・評価】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>緊急通報システムについて、障害福祉部門と調整を行い救急代理通報システムに名称変更した。</li> <li>補聴器事業は、耳鼻咽喉科医師の診察と適切な検査の実施、購入前に支給等の審査を行うことで、助成制度の適正化を図るよう改正した。</li> </ul>
	<p>事業実施における課題・解決策</p> <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>なし</li> </ul> <p>【解決策】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>なし</li> </ul>
	<p>令和3年度の取組計画</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>引き続き、各事業の一層の周知だけでなく、利用できる他制度がある場合には、利用へつなげられるように関係部署との連携をはかる。</li> <li>火災安全システムは実績に合わせて救急代理通報システムに包含する等検討する。</li> </ul>
	<p>家族介護者支援ホームヘルプサービス事業 【地域福祉課】</p>
	<p>【事業目標】</p> <p>家族介護者の精神的・身体的軽減を図るため、ヘルパーを派遣します。</p>
	<p>令和2年度の主な実施内容</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>家族介護者支援ホームヘルプサービス事業 利用決定者数 905人（前年比 12人増）（大森：270人 調布：216人 蒲田：278人 糺羽：141人）</li> <li>前年と比較して増加した要因：申請数の増加。</li> </ul>
	<p>令和2年度の取組計画のふりかえり</p> <p>【昨年度記載内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>介護事業者連絡会や介護支援専門員連絡会などで周知を行う。</li> </ul> <p>【実績・評価】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>介護支援専門員連絡会にて周知を行った。新年度利用券送付時に利用促進の案内を封入した。</li> </ul>
	<p>事業実施における課題・解決策</p> <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>後期高齢者の人口増加に伴い、事業のさらなる拡大の要望が上がっている。</li> </ul> <p>【解決策】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>効果的な事業運営にむけ、介護保険や他区制度と比較し、見直しを検討する。</li> </ul>
	<p>令和3年度の取組計画</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>引き続き事業の周知に努めるとともに、ニーズに合った事業のあり方を検討する。</li> </ul>
	<p>家族介護者の交流の促進 【高齢福祉課】</p>
<p>【事業目標】</p> <p>介護者の孤立防止と介護知識の習得等により、介護者の精神的負担の軽減を図ります。</p>	
<p>令和2年度の主な実施内容</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>介護者向け情報誌「ゆうゆう」の発行（年4回） 各回 6,000部</li> <li>家族介護者会への支援。</li> </ul>	
<p>令和2年度の取組計画のふりかえり</p> <p>【昨年度記載内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>介護者向け情報誌「ゆうゆう」の発行。（年4回） 各回 6,000部</li> <li>家族介護者会への支援。</li> </ul> <p>【実績・評価】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>計画内容は実行できている。引き続き着実に取り組むとともに、情報誌の内容充実や支援のあり方についての検討を進める。</li> </ul>	

計 画 事 業	事業実施における課題・解決策
	【課題】
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、休止している家族会が多くある中、家族介護者の支援方法について検討を要する。</li> </ul>
	【解決策】
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・活動は休止しているが、お知らせや手紙、電話などで交流しているケースもあり、そのような活動の周知・促進を図る。</li> </ul>
	令和3年度の実施計画
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・介護者向け情報誌「ゆうゆう」の発行。(年4回)      各回6,000部</li> <li>・家族介護者会への支援。</li> </ul>

主な事業	<b>認知症高齢者への支援</b>
主な事業の目標	<p>認知症になっても、地域で安心して暮らし続けられるよう、「認知症サポーター」の養成や「認知症カフェ」等、認知症についての区民の理解を深める取り組みとともに、認知症の早期診断・早期対応等により、認知症の人と家族が安心して暮らせるよう支援します。</p> <p>また、若年性認知症の人と家族への支援の充実について検討します。</p>
計 画 事 業	<b>重点 認知症初期集中支援チーム、認知症地域支援推進員 【高齢福祉課】</b>
	<p><b>【事業目標】</b>          早期診断・早期対応を軸とする循環型の仕組みを構築することで、医療・介護等が有機的に連携し、認知症の容態の変化に応じて、そのときの容態にもっともふさわしい場所で提供される仕組みを構築します。</p>
	<p><b>令和2年度の主な実施内容</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・認知症初期集中支援チーム検討委員会の開催 1回</li> <li>・認知症地域支援推進員による「認知症カフェ」の設置 25か所</li> <li>・「認知症カフェ」案内リーフレット配布</li> <li>・民間団体による「認知症カフェ」との連携</li> </ul>
	<p><b>令和2年度の取組計画のふりかえり</b></p> <p><b>【昨年度記載内容】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・認知症初期集中支援チーム検討委員会の開催。</li> <li>・認知症地域支援推進員による「認知症カフェ」の開催。</li> <li>・「認知症カフェ」案内リーフレットの作成・配布。</li> <li>・民間団体による「認知症カフェ」との連携。</li> </ul> <p><b>【実績・評価】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・認知症初期集中支援チームについては、認知症サポート医と連携して活動している。</li> <li>・認知症カフェについては、新型コロナウイルス感染症拡大の影響で開催が制限されるなか、感染症対策を講じて開催するよう努めた。</li> </ul>
	<p><b>事業実施における課題・解決策</b></p> <p><b>【課題】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・民間団体による「認知症カフェ」との連携については、新型コロナウイルス感染症拡大の影響で連携を見送った。</li> </ul> <p><b>【解決策】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・他自治体の連携事例を参考に、民間団体と連携した認知症カフェについての検討を進める。</li> </ul>
<p><b>令和3年度の取組計画</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・認知症地域支援推進員と連携し、対象者が必要とする医療や介護との支援体制構築。</li> <li>・医療機関や認知症支援コーディネーターとの連携強化を推進。</li> <li>・認知症初期集中支援チーム検討委員会の開催。</li> <li>・認知症地域支援推進員の相談対応力の向上。</li> <li>・認知症初期集中支援チームとの連携強化。</li> <li>・認知症カフェの運営支援。</li> </ul>	
<b>重点 認知症支援コーディネーター事業 【高齢福祉課】</b>	
<p><b>【事業目標】</b>          認知症高齢者とその家族を支援するため、認知症高齢者の早期発見・診断、対応をすすめる、地域の認知症対応力の向上を推進します。</p>	
<p><b>令和2年度の主な実施内容</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・認知症支援コーディネーターの配置（1名）</li> <li>・コーディネーター相談件数 52件（前年比25件減）</li> <li>・前年と比較して減少した要因：新型コロナウイルス感染症拡大の影響による、相談件数の減少。</li> </ul>	

計 画 事 業	<ul style="list-style-type: none"> <li>・アウトリーチ依頼件数 1件</li> <li>・認知症初期集中支援チームへの相談、助言</li> </ul>
	<p><b>令和2年度の取組計画のふりかえり</b></p> <p>【昨年度記載内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・認知症支援コーディネーターの配置。(1名)</li> <li>・コーディネーター相談。</li> <li>・アウトリーチチームへ依頼。</li> <li>・認知症初期集中支援チームへの相談、助言。</li> </ul> <p>【実績・評価】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・相談の延べ件数は減少したが、初回相談の人数やアウトリーチチームへの依頼件数は昨年度より増加した。</li> </ul>
	<p><b>事業実施における課題・解決策</b></p> <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・認知症初期集中支援チームとアウトリーチチームとの連携強化を要する。</li> </ul> <p>【解決策】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・認知症初期集中支援チームへ認知症コーディネーター事業を周知する。</li> </ul>
	<p><b>令和3年度の取組計画</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・東京都認知症疾患医療センターと連携して、認知症地域支援推進員や認知症初期集中支援チームの活動に助言する。</li> </ul>
	<p><b>重点 認知症サポーター養成講座事業 【高齢福祉課】</b></p>
	<p>【事業目標】</p> <p>認知症高齢者が安心して住み慣れた地域で生活し続けられるよう、認知症高齢者やその家族を日常生活において支援する認知症サポーターの育成を図ります。</p>
	<p><b>令和2年度の実施内容</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・認知症サポーター養成講座 32回 延873人(前年比 2,026人減)</li> <li>・昨年度までの講座受講者数累計 31,875人</li> <li>・前年と比較して減少した要因：新型コロナウイルス感染症拡大の影響による、認知症サポーター養成講座の開催数減少。</li> <li>・小中学校等での講座 4回 参加者 133人</li> <li>・団体への講師派遣による講座の開催 23回</li> <li>・個人向けに特別出張所等を会場に開催 5回</li> </ul>
	<p><b>令和2年度の取組計画のふりかえり</b></p> <p>【昨年度記載内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・認知症サポーター養成講座の開催</li> <li>・小中学校等での講座開催</li> <li>・団体への講師派遣による講座の開催</li> <li>・個人向けに特別出張所等を会場に開催</li> </ul> <p>【実績・評価】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・新型コロナウイルス感染症拡大の影響により開催回数が減じたが、感染症対策を講じることで開催するよう努めた。</li> </ul>
	<p><b>事業実施における課題・解決策</b></p> <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・認知症サポーターの活用方法について検討を要する。</li> </ul> <p>【解決策】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・認知症サポーターが地域で活動できるよう環境を整備する。</li> </ul>
	<p><b>令和3年度の取組計画</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域団体等が開催する講座への講師派遣や個人参加型の講座開催。</li> <li>・企業や小・中学校等へのアプローチ。</li> <li>・ステップアップ研修内容及びチームオレンジ活動開始に向けた検討。</li> </ul>

計 画 事 業	<b>重点</b> 認知症高齢者支援事業 【高齢福祉課】
	<b>【事業目標】</b> 認知症に関する知識を広く区民に周知し、地域のネットワークを利用して、地域全体で認知症の人とその家族を支える体制を整備します。
	<b>令和2年度の主な実施内容</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・認知症ケアパスを掲載した「大田区認知症サポートガイド」の作成及び配布</li> <li>・認知症普及啓発パンフレット配布</li> <li>・介護マークの配布</li> <li>・見守りアイロンシール及び見守りシールの作成、配布</li> <li>・認知症ケアパスの内容検討</li> </ul>
	<b>令和2年度の取組計画のふりかえり</b> <p><b>【昨年度記載内容】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・認知症普及啓発パンフレットの配布</li> <li>・介護マークの配布</li> <li>・見守りアイロンシール、見守りシールの配布</li> <li>・認知症ケアパスの作成、配布</li> <li>・高齢者見守り訓練の実施</li> </ul> <p><b>【実績・評価】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・これまで作成及び配布してきた複数の認知症普及啓発パンフレットを統合し、認知症ケアパスを掲載した「大田区認知症サポートガイド」を作成し、関係機関や区民へ配布した。</li> <li>・高齢者見守り訓練については、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により開催を見送った。</li> </ul>
	<b>事業実施における課題・解決策</b> <p><b>【課題】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・高齢者見守り訓練の開催。</li> </ul> <p><b>【解決策】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・感染症対策を講じた開催方法の検討を進める。</li> </ul>
	<b>令和3年度の取組計画</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・大田区認知症サポートガイドの配布</li> <li>・高齢者見守り訓練の実施</li> <li>・介護マークの配布</li> <li>・見守りアイロンシール、見守りシールの配布</li> <li>・認知症検診の実施</li> </ul>
	<b>重点</b> 大田区行方不明高齢者等情報配信事業（高齢者見守りメール） 【高齢福祉課】
	<b>【事業目標】</b> メールを受信登録者を増やすことにより、認知症の人を地域で見守る体制を強化します。
	<b>令和2年度の主な実施内容</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・メール配信 12件</li> <li>・区内5警察署と協力協定継続</li> <li>・認知症サポーター養成講座での受信登録者勧誘 登録件数 687件（令和3年3月31日時点）</li> </ul>
	<b>令和2年度の取組計画のふりかえり</b> <p><b>【昨年度記載内容】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・メール配信</li> <li>・区内5警察署と協力協定継続</li> <li>・認知症サポーター養成講座での受信登録者勧誘</li> </ul>

計 画 事 業	<p>【実績・評価】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・認知症サポーター養成講座といった催しや、区報によって登録勧奨することで、登録者数は着実に増加している。</li> </ul> <p>事業実施における課題・解決策</p> <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・高齢者見守りメールの受信登録者の拡大が必要。</li> </ul> <p>【解決策】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・区報や区設掲示板、HP、Twitter 等で、登録勧奨を進める。</li> </ul> <p>令和 3 年度の取組計画</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・メール配信</li> <li>・区内 5 警察署と協力協定継続</li> <li>・各種広報にて、登録勧奨</li> </ul>
	<p><b>重点 若年性認知症の支援 【高齢福祉課・介護保険課・地域福祉課】</b></p>
	<p>【事業目標】</p> <p>若年性認知症の人の状態や環境に応じて、今後の生活の相談や、居場所づくりなど、様々な分野にわたる支援を総合的に行う仕組みを構築します。</p>
	<p>令和 2 年度の主な実施内容</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・相談対応体制及びデイサービスについての検討</li> <li>・若年性認知症支援相談窓口の開設及び運営 相談件数 368 件</li> <li>・若年性認知症家族会「ハーモニー」開始</li> </ul>
	<p>令和 2 年度の取組計画のふりかえり</p> <p>【昨年度記載内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・若年性認知症支援相談窓口の開設</li> </ul> <p>【実績・評価】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・10 月に窓口を開設し、相談を開始した。</li> <li>・若年性認知症家族会「ハーモニー」を立ち上げた。</li> <li>・若年性認知症日を週 2 回、定員 3 名で実施。待機者、相談者あり。</li> </ul>
	<p>事業実施における課題・解決策</p> <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・窓口開設後も、区民への周知や多岐にわたる関係機関とのネットワークの構築を要する。</li> <li>・定員 10 名を目標に開始した事業であるが、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、定員を増やすことが難しい状況になったが、相談支援窓口も開設され、今後利用枠を拡大していく必要がある。</li> </ul> <p>【解決策】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・広報の活用や、都や他自治体と情報を共有し、ネットワークを広げていく。</li> <li>・1 日の定員を増やすことは三密状態になるため、利用日を増やしていく。</li> </ul>
	<p>令和 3 年度の取組計画</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・伴走型支援の実施</li> <li>・各関係機関との支援ネットワークの構築推進</li> <li>・若年性認知症に関する普及啓発</li> <li>・若年性認知症家族会「ハーモニー」の活動支援</li> <li>・若年性認知症日を週 3 回、定員 3 名で実施。利用枠の拡大。</li> </ul>
	<p><b>重点 認知症高齢者グループホーム家賃等助成事業 【介護保険課】</b></p>
	<p>【事業目標】</p> <p>特別区民税非課税世帯で一定の要件に該当する方に、認知症高齢者グループホームを利用するための家賃、食費等の利用料を一部助成します。</p>

計 画 事 業	<p><b>令和 2 年度の主な実施内容</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・区報等による事業啓発に努め、同事業の利用者拡充に向けた取組みを行った。</li> <li>・所得基準を見直し、利用者拡大を図った。</li> </ul>
	<p><b>令和 2 年度 of 取組計画のふりかえり</b></p> <p>【昨年度記載内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・所得基準額を緩和し、利用者拡大を図る。</li> </ul> <p>【実績・評価】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・4名 基準緩和により利用者増となった。引き続き利用者拡充に取り組んでいく。</li> </ul>
	<p><b>事業実施における課題・解決策</b></p> <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・グループホーム入所者は所得が高い利用者も多く、基準内の利用者が少ないと考えられる。基準の緩和等の検討が更に必要。</li> <li>・助成分を事業者が立て替えている期間が長いため、事業参入しにくい状況にある。</li> </ul> <p>【解決策】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・基準緩和等の検討を行う。</li> <li>・利用者拡充のため、助成事業の啓発をさらに務める。</li> <li>・事業所への助成金支払い方法を変更し、事業を実施するグループホームを増やす。</li> </ul>
	<p><b>令和 3 年度の取組計画</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・区報等による事業啓発を行い、対象グループホームの拡大を検討し、利用者の増加に向けた取組みを行っていく。</li> </ul>

主な事業	<b>医療機関との連携</b>
主な事業の目標	<p>重度の要介護状態となっても住み慣れた地域で暮らし続けるためには、在宅で医療サービスを受けるニーズへの一層の対応が求められます。在宅医療相談窓口の設置や、研修等を通して、医療・介護それぞれのサービス提供者が連携し、在宅での療養生活を支えます。</p>
計 画 事 業	<b>重点 在宅医療相談窓口の推進 【健康医療政策課】</b>
	<b>【事業目標】</b> 在宅医療への円滑な移行や、安定的な在宅療養生活のため、医療と福祉分野の連携を推進します。
	<b>令和2年度の主な実施内容</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・在宅医療相談窓口の設置、充実</li> <li>・相談件数 308 件（内訳：区民 99 件、専門職 209 件）</li> </ul>
	<b>令和2年度の取組計画のふりかえり</b> <b>【昨年度記載内容】</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・在宅医療ガイドブックや、専門職向けのリーフレットの配布を行い、更なる認知度の向上、利用促進を目指す。</li> </ul> <b>【実績・評価】</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・前半は新型コロナウイルス感染症拡大の影響により受診控えもあり、1 年間の相談件数は 308 件と令和元年度に比べると減少しているが、後半は相談件数が増加している。</li> </ul>
	<b>事業実施における課題・解決策</b> <b>【課題】</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・区民の認知度が少しずつ浸透している反面、病院をはじめとした専門職からの相談が減少している。</li> </ul> <b>【解決策】</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・未配布の事業所等へのリーフレットの配布、更なる区民への周知を図るため、区報等での周知啓発を行う。</li> </ul> <b>令和3年度の取組計画</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・在宅医療ガイドブック、専門職向けのリーフレットの配布を引き続き行い、更なる認知度の向上、利用促進を目指す。</li> </ul>
	<b>重点 在宅医療関係者の連携強化とレベルアップ 【健康医療政策課】</b>
	<b>【事業目標】</b> 安定的な在宅療養生活を支援するために、在宅医療関係者の連携強化とレベルアップを図ります。
	<b>令和2年度の主な実施内容</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・在宅医療関係者による事例検討会</li> <li>・在宅医療連携推進協議会役員会</li> </ul>
	<b>令和2年度の取組計画のふりかえり</b> <b>【昨年度記載内容】</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・在宅医療関係者による研修の継続実施及び病診連携を推進するため、病院関係者にも参加してもらう研修を実施する。</li> <li>・在宅医療関係者の情報共有を進めるツールとして作成中である「在宅医療連携ノート」の配布を目指す。</li> </ul>

計 画 事 業	<p>【実績・評価】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・在宅医療関係者による事例検討会は新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、これまでの形式での実施は困難だったが、web会議を実施し情報共有を図った。</li> <li>・在宅医療連携推進協議会役員会も実施回数が少なくなったが、web会議で「新型コロナウイルス感染症における地域課題」についてグループワークを実施する等、工夫して実施した。</li> </ul> <p>(新型コロナウイルス感染症拡大の影響により縮小&lt;実施回数減&gt;)</p>
	<p>事業実施における課題・解決策</p> <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・web会議となった場合対応出来ない参加者がいるため、参加人数がこれまでより減ってしまう場合が多い。</li> </ul> <p>【解決策】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・対応難しい場合は会場参集してもらい、web会議と通常会議の併用を行う等、参加しやすい環境を整えていく。</li> </ul>
	<p>令和3年度の取組計画</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・新型コロナウイルスの感染拡大状況を踏まえ、web会議を積極的に利用しながら引き続き連携強化を図る。</li> </ul>
	<p><b>重点 区民への普及・啓発 【健康医療政策課】</b></p>
	<p>【事業目標】</p> <p>区民に在宅医療を広く周知するための啓発を行います。</p>
	<p>令和2年度の実施内容</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・在宅医療に関する啓発冊子の配布</li> <li>・全体会（くらし健康あんしんネットおおた） 0回 実行委員会 0回 (新型コロナウイルス感染症拡大の影響により中止。)</li> </ul>
	<p>令和2年度の取組計画のふりかえり</p> <p>【昨年度記載内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・在宅医療ガイドブックを各師会（医師会・歯科医師会・薬剤師会）、病院、区施設に配布する。</li> <li>・「くらし健康あんしんネットおおた」を開催する。</li> </ul> <p>【実績・評価】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・在宅医療ガイドブックを各師会や区内病院、区施設に配布することによって、区民が「在宅医療」について知る機会が増えた。</li> </ul>
	<p>事業実施における課題・解決策</p> <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「くらし健康あんしんネットおおた」は参加者の多くが高齢者のため、これまで同様の開催方法が難しい。</li> </ul> <p>【解決策】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・開催規模や時期、実施回数等、三密状態にならないような実施方法が可能か、検討を行う。</li> </ul>
	<p>令和3年度の取組計画</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・在宅医療ガイドブックを各師会（医師会・歯科医師会・薬剤師会）、病院、区施設に配布する。</li> <li>・区民への普及啓発の場で在宅医療ガイドブックを配布する。</li> </ul>

主な事業	<b>住まいの確保支援</b>
主な事業の目標	<p>高齢者が可能な限り自宅に引き続きられるような情報提供をすすめるとともに、自宅の改修や、新たな住まいを確保できるよう、居住支援協議会の設置等を行います。また、自宅に引き続きることが困難になった高齢者が安心して暮らし続けられるようシルバーピアの供給、都市型軽費老人ホームの整備支援を行います。</p>
計 画 事 業	<b>重点 高齢者が自宅に引き続きするための情報提供 【高齢福祉課】</b>
	<b>【事業目標】</b> 高齢者が可能な限り住み慣れた自宅に引き続きられるよう、在宅生活の継続を支援する様々な社会資源の情報を提供します。
	<b>令和2年度の主な実施内容</b> ・パンフレット配布、ホームページによる情報提供
	<b>令和2年度の取組計画のふりかえり</b>
	<b>【昨年度記載内容】</b> ・居住支援協議会における協議の進展をみながら、情報提供のあり方を検討。 <b>【実績・評価】</b> ・パンフレット、ホームページに掲載している情報について、内容変更や廃止など現状と異なる部分が散見されるようになったため、年度途中で、現行のパンフレットの配布、ホームページによる閲覧は廃止した。
	<b>事業実施における課題・解決策</b> <b>【課題】</b> ・あらたな情報提供の方策について。 <b>【解決策】</b> ・居住支援協議会の設立に伴い、高齢者等を対象とした民間サービスも含めた各種見守りサービスの実施などの検討・実施が始まっている。協議会の検討・実施の進捗に足並みをそろえ、情報提供を進める。 <b>令和3年度の取組計画</b> ・居住支援協議会の検討の進捗、事業の実施状況をふまえながら、情報提供を進めていく。
<b>重点 高齢者住宅改修への支援 【地域福祉課】</b>	
<b>【事業目標】</b> 高齢者の在宅生活を支援するため、住宅改修費の助成を行い、生活の質の向上、介護者の負担軽減を図ります。	
<b>令和2年度の主な実施内容</b> ・住宅改修助成事業の実施 60件（前年比5件増） （大森：14件 調布：9件 蒲田：19件 糺羽：18件） ・前年と比較して増減した要因：大きな増減はなし。	
<b>令和2年度の取組計画のふりかえり</b>	
<b>【昨年度記載内容】</b> ・令和元年度に引き続き、相談等の受付をする。 <b>【実績・評価】</b> ・担当向けQ&Aを作成し、スムーズで間違いのない相談対応に努めた。	
<b>事業実施における課題・解決策</b> <b>【課題】</b> ・順調に実施できており、特になし。	

計 画 事 業	<p>【解決策】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・特になし</li> </ul> <p>令和3年度の取組計画</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・引き続き、スムーズで間違いのない相談対応に努める。</li> </ul>
	<p><b>重点</b> 高齢者等住宅確保支援 <span style="float: right;">【建築調整課】</span></p> <p>(令和2年度より事業名を変更し、居住支援協議会に位置付け)</p>
	<p>【事業目標】</p> <p>住宅に困窮する高齢者等に対し、公益社団法人東京都宅地建物取引業協会大田区支部の協力を得て、民間賃貸住宅への入居を支援します。また火災保険料等及び家賃保証料の助成を行うことにより、高齢者等の民間住宅への入居促進を図ります。</p>
	<p>令和2年度の主な実施内容</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・住宅物件紹介申込 <del>1</del>件(前年比 <del>1</del>件増減) <span style="float: right;">廃止</span></li> <li>・火災保険料等助成 <del>1</del>件(前年比 <del>1</del>件増減)</li> <li>・家賃保証料助成 <del>1</del>件(前年比 <del>1</del>件増減)</li> <li>・前年と比較して増減した要因：</li> <li>・事業検証</li> </ul>
	<p>令和2年度の取組計画のふりかえり</p> <p>【昨年度記載内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・助成内容の見直し及び助成金の改定。</li> </ul> <p>【実績・評価】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・令和2年度より事業名を変更し、居住支援協議会に位置付け。</li> </ul>
	<p><b>重点</b> 生活支援付すまい確保事業 <span style="float: right;">【高齢福祉課】</span></p>
	<p>【事業目標】</p> <p>入居を希望する高齢者と賃貸住宅の家主に対して、円滑な入居契約につながるよう支援を行います。</p>
	<p>令和2年度の主な実施内容</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・高齢者に寄り添った物件探しの支援</li> <li>・入居後の安否確認</li> <li>・家主等からの相談対応</li> <li>・申込件数 <span style="float: right;">32件</span></li> <li>・入居契約成立件数 <span style="float: right;">17件</span></li> </ul>
	<p>令和2年度の取組計画のふりかえり</p> <p>【昨年度記載内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・2020年も引き続き、高齢者の住まいの確保を支援していく。</li> </ul> <p>【実績・評価】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・本事業の寄り添い支援により、住宅探しに困窮している高齢者の住まいの確保が円滑に行われた。</li> </ul>
	<p>事業実施における課題・解決策</p> <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・効率的な見守り方法や、障がい・低所得などの重複した障壁がある方への支援方法。</li> </ul> <p>【解決策】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・見守り方法の現状を再整理し、他の住宅確保要配慮者の支援事業との整合性を図って検討を進めていく。</li> </ul>
<p>令和3年度の取組計画</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・引き続き、高齢者の住まいの確保を支援し、見守り方法については、現状課題の再整理をする。</li> </ul>	

**重点 居住支援協議会の設置 【建築調整課】**

**【事業目標】**

低所得者、高齢者、子育て世帯など住宅確保要配慮者の民間賃貸住宅への円滑な入居を促進するため、不動産関係団体や居住支援団体等が連携し、住宅情報の提供等を支援する「居住支援協議会」の設置をめざします。

居住支援協議会では、居住支援に関する情報を関係者間で共有し支援策について協議することで、行政だけでは解決できない課題を地域の団体との協働により解決します

**令和2年度の主な実施内容**

・協議会の開催

居住支援協議会（書面開催）

第1回 令和2年8月7日開催、第2回 令和3年2月8日開催

居住支援協議会庁内検討会

第1回 令和2年7月21日開催、第2回 令和3年1月29日開催

居住支援協議会庁内検討会作業部会

第1回 令和2年7月13日開催、第2回 令和3年1月15日開催

高齢者作業部会

第1回 令和2年7月3日開催

合同作業部会

第1回 令和2年10月23日開催

職員向け研修会（令和2年11月30日開催） 参加者数 66人

居住支援セミナー（令和2年12月25日開催） 参加者数 42人

・住宅確保支援事業（令和2年度より、高齢者等住宅確保支援から事業名変更）

協力先として公益社団法人東京都宅地建物取引業協会大田区支部に加え、公益社団法人全日本不動産協会東京都本部城南支部と協定締結

協力不動産店リストの配布 465件

火災保険料等助成 6件（前年比 増減なし）（高齢者等住宅確保支援）

※令和元年度で廃止、経過措置中

家賃保証料助成 10件（前年比 3件増）（高齢者等住宅確保支援）

緊急連絡先代行サービス利用料助成 2件（新規）

緊急通報サービス利用料助成 0件（新規）

入居者死亡保険加入費助成 1件（新規）

・前年と比較して増加した要因：セミナーの開催や居住支援協議会ガイド、冊子等を作成し、居住支援協議会の活動及び支援制度の周知・普及に努めた。

**令和2年度の取組計画のふりかえり**

**【昨年度記載内容】**

- ・入居支援事業として、見守りサービスを導入予定。
- ・助成内容の見直し及び助成金の改定。（高齢者等住宅確保支援）

**【実績・評価】**

- ・既存の高齢者等住宅確保支援事業を居住支援協議会の事業と位置付け。
- ・計画どおり事業の見直しを行い、既存の助成制度に加えて、新たに上記サービスの利用料助成を開始した。

**事業実施における課題・解決策**

**【課題】**

- ・住宅確保要配慮者への理解促進、支援制度の普及啓発の推進。

**【解決策】**

- ・住宅施策と福祉施策の活用及び関係者間の連携強化及び相談窓口体制の充実。

計 画 事 業	<p>令和3年度の取組計画</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>入居者、不動産事業者双方の安心、安全を担保し、円滑な契約へ繋げていくため、関係団体等との連携を強化し、支援の在り方等について検討を行い、引き続き課題解決に向けて取り組んでいく。</li> </ul>
	<p><b>重点 借上型区営シルバーピアの供給 【高齢福祉課】</b></p>
	<p>【事業目標】</p> <p>高齢者の特性に配慮した安全で利便性の高い住宅を借り上げ供給することにより、住宅に困窮する高齢者の生活の安定と福祉の増進を図ります。</p>
	<p>令和2年度の実施内容</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>借上型シルバーピア（12棟277戸）継続</li> </ul>
	<p>令和2年度の取組計画のふりかえり</p> <p>【昨年度記載内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>空き室について、年1回の入居募集を行う。</li> </ul> <p>【実績・評価】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>9月に空き室の入居募集を行い、住宅の困窮度に応じて入居予定者を決定し、空き室への円滑な入居を行った。</li> </ul>
	<p>事業実施における課題・解決策</p> <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>借上型シルバーピアは、20年間の借上げ契約期間が満了を迎える住宅がほぼ毎年度続いたため、再借上げを行って供給住宅戸数を確保する。</li> </ul> <p>【解決策】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>借上型シルバーピアのオーナーとの再借上げ交渉を早めに着手し、再借上げに必要な要件整備を行っていく。</li> </ul>
	<p>令和3年度の取組計画</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>令和4年度中（11月末と3月末）に契約期間満了となるシルバーピア2棟について、再借上げに向けた事前交渉を行っていく。</li> </ul>
	<p><b>重点 都市型軽費老人ホーム整備費補助事業 【介護保険課】</b></p>
	<p>【事業目標】</p> <p>身体機能の低下等により自立した日常生活に不安を抱える低所得高齢者の住まいを確保するため、民間事業者による都市型軽費老人ホームの整備を支援します。</p>
	<p>令和2年度の実施内容</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>1施設公募</li> </ul>
<p>令和2年度の取組計画のふりかえり</p> <p>【昨年度記載内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>1施設公募</li> </ul> <p>【実績・評価】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>応募なし</li> </ul>	
<p>事業実施における課題・解決策</p> <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>整備相談はあったが、土地が狭く整備が難しいことや、新型コロナウイルス感染症拡大の影響による不況によりオーナーから計画の取りやめなどがあり、応募が得られなかった。</li> </ul> <p>【解決策】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>利用者の需要動向を踏まえ、慎重に事業者、オーナーと話し合い整備を進める。</li> </ul>	
<p>令和3年度の取組計画</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>1施設公募</li> </ul>	

## 施策の方向性：介護サービスの充実

主な事業	<b>居宅介護サービスの充実</b>
主な事業の目標	<p>住み慣れた地域で暮らし続けられる地域包括ケアシステムの推進に向け、多様な介護サービスの供給体制を整備します。特に、地域特性を踏まえながらサービス提供を行う地域密着型サービスの充実は不可欠です。在宅介護における医療ニーズに対応したサービスとともに、家族介護者を支援する観点から宿泊機能を有する地域密着型サービスやショートステイの充実に取り組みます。</p>
計 画 事 業	居宅系地域密着型サービスの整備 【介護保険課】
	<p><b>【事業目標】</b>          中重度の要介護認定者の在宅生活を支えるため、日中・夜間を通じたサービスや医療ニーズの高い要介護者に対応可能な地域密着型サービスを拡充します。</p>
	<p>令和2年度の主な実施内容</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>定期巡回・随時対応型訪問介護看護及び（看護）小規模多機能型居宅介護について、補助金活用を促すため医療関係者のリモート会議に参加し事業の必要性を説明した。定期巡回・随時対応型訪問介護看護について、運営安定のためケアマネジャーのリモート研修会にて事業活用を推奨した。</li> </ul>
	<p>令和2年度の取組計画のふりかえり</p> <p><b>【昨年度記載内容】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>安定した人材確保や運営に資するため、ケアマネジャー等への事業周知、開設時の補助金活用を促し、新規開設、安定運営を支援する。</li> </ul> <p><b>【実績・評価】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>（看護）小規模多機能型居宅介護について、開設後の6か月間の経費に対する補助金を新設した。</li> <li>定期巡回・随時対応型訪問介護看護事業所の整備・開設支援を行い、令和3年4月に2事業所が開設した。</li> <li>看護小規模多機能型居宅介護事業所の整備支援を行い、令和3年4月に1事業所開設した。</li> </ul>
	<p>事業実施における課題・解決策</p> <p><b>【課題】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>定期巡回・随時対応型訪問介護看護事業所は区内に4事業所となったが、不足している地域がある。</li> </ul> <p><b>【解決策】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>不足している地域での整備、開設を支援していく。</li> </ul>
	<p>令和3年度の取組計画</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>定期巡回・随時対応型訪問介護看護 1事業所整備支援</li> <li>（看護）小規模多機能型居宅介護 1事業所整備支援</li> </ul>
	ショートステイの充実 【介護保険課】
	<p><b>【事業目標】</b>          家族介護者の精神的・身体的負担の軽減を図るため、特別養護老人ホームに併設するショートステイ等の宿泊機能を有するサービスを充実します。</p>
	<p>令和2年度の主な実施内容</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>特別養護老人ホーム併設のショートステイ 9床整備支援</li> </ul>

計 画 事 業	令和2年度の取組計画のふりかえり
	【昨年度記載内容】
	・(仮称) 特別養護老人ホーム大森東を公募するにあたり、ショートステイの併設について検討する。
	【実績・評価】
	・(仮称) 特別養護老人ホーム大森東にはショートステイではなく、不足している看護小規模多機能型居宅介護事業所を併設する。この事業はショートステイとしても活用できるため、開設後は看護が必要な要介護高齢者の在宅生活を支えることができる。
事業実施における課題・解決策	
【課題】	
・区民のニーズを把握し適切に整備支援を行う必要がある。	
【解決策】	
・単独のショートステイよりも、(看護) 小規模多機能型居宅介護事業所の整備支援を推進する。	
令和3年度の取組計画	
・(看護) 小規模多機能型居宅介護 1 事業所整備支援	

<p>主な事業</p>	<p>介護保険施設等の整備支援</p>
<p>主な事業の目標</p>	<p>自宅での生活が困難になった中重度の要介護認定者の安定した生活を支え、家族による過度な介護負担を軽減するとともに、東京都保健医療計画との整合性を確保した追加的な需要等を踏まえ、特別養護老人ホームの整備をすすめていきます。 さらに、見守りや支援が必要な認知症症状者の増加を踏まえ、認知症高齢者グループホームの施設整備を支援します。</p>
<p>計 画 事 業</p>	<p>特別養護老人ホームの整備支援 【介護保険課】</p>
	<p>【事業目標】 在宅生活が困難になった中重度の要介護認定者の安定した生活を確保するため、民間事業者の活力による特別養護老人ホームの整備を支援します。</p>
	<p>令和2年度の主な実施内容</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>施設整備支援</li> </ul>
	<p>令和2年度の取組計画のふりかえり</p>
	<p>【昨年度記載内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>区有地である大森東地区の埋立地を有効活用し、整備事業者を公募する。</li> </ul>
	<p>【実績・評価】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>新型コロナウイルス感染症拡大の影響により住民説明会を延期したため、令和3年3月に整備運営事業者の公募を開始した。</li> </ul>
	<p>事業実施における課題・解決策</p>
	<p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>応募法人の中から適切な法人を公平公正に選定する。</li> </ul>
	<p>【解決策】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>学識経験者等を含む選定委員会において選定する。</li> </ul>
	<p>令和3年度の取組計画</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>整備運営事業者を選定し東京都への補助金申請を支援する。</li> </ul>
<p>認知症高齢者グループホームの整備支援 【介護保険課】</p>	
<p>【事業目標】 在宅生活が困難な認知症高齢者の増加を踏まえ、民間事業者による認知症高齢者グループホームの整備を支援します。</p>	
<p>令和2年度の主な実施内容</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>1 施設公募</li> <li>令和2年度の開設はなし</li> </ul>	
<p>令和2年度の取組計画のふりかえり</p>	
<p>【昨年度記載内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>1 施設公募</li> </ul>	
<p>【実績・評価】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>公募に応募があり、事業者を選定したが、オーナーの都合により計画中止となった。</li> </ul>	
<p>事業実施における課題・解決策</p>	
<p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>オーナーの事業への理解不足により計画中止になることがある。</li> </ul>	
<p>【解決策】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>利用者の需要動向を踏まえ、慎重に事業者、オーナーと話し合い整備を進める。</li> </ul>	
<p>令和3年度の取組計画</p>	
<ul style="list-style-type: none"> <li>1 施設公募</li> </ul>	

主な事業	<b>介護人材の確保及び資質の向上</b>
主な事業の目標	<p>慢性的な介護人材の不足に対応するため、介護サービス事業者や多様な機関・団体との連携により、介護の仕事の魅力を伝え、関心を持ってもらえるよう、幅広い年齢層に向けた働きかけを強化します。</p> <p>介護職の未経験者や離職中の介護福祉士等の有資格者が、安心して働き始め、モチベーションを維持しながら働き続けられるよう、介護就職セミナーやイベントを実施します。また、個々の従事者のスキルアップや、能力に応じた着実なキャリアアップが図れるよう、多様な研修を実施するなど、就労支援から定着、資質向上に至る継続的な支援に取り組みます。</p>
計 画 事 業	<b>重点 多様な介護人材の確保 【介護保険課】</b>
	<p><b>【事業目標】</b> 介護人材の確保に向け、多様な機関・団体と連携を図りながら、就職セミナーや面接会を実施し、安定的な介護サービスの供給体制を確保します。</p>
	<p><b>令和2年度の主な実施内容</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・介護職員初任者研修受講費助成 7事業所 15人（前年度 8事業所 18人）</li> <li>・介護のお仕事定例就職面接会 新型コロナウイルス感染症拡大の影響により中止。</li> <li>・おおた福祉フェス 新型コロナウイルス感染症拡大の影響により中止。</li> <li>・介護に関する入門的研修 新型コロナウイルス感染症拡大の影響により中止。</li> </ul>
	<p><b>令和2年度の取組計画のふりかえり</b></p> <p><b>【昨年度記載内容】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・介護人材等の調査結果をもとに、受講費助成に加え、定例就職面接会等の実施の周知の強化やおおた福祉フェスでの区民への介護事業等の情報提供などにより、更なる事業の拡充を図るとともに、福祉管理課と連携した事業により、介護人材の確保に取り組む。</li> </ul> <p><b>【実績・評価】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・介護職員初任者研修助成事業は、昨年度と比べ若干の減少。</li> <li>・定例就職面接会等は新型コロナウイルス感染症拡大の影響により中止。</li> </ul>
	<p><b>事業実施における課題・解決策</b></p> <p><b>【課題】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・介護職員初任者研修助成事業の実施状況は、昨年度と比べ若干減少しており、利用する事業所が固定化されている。</li> <li>・定例就職面接会等は新型コロナウイルス感染症拡大の影響により中止しており、新たな開催方法の検討が必要だが、感染状況によっては実施することが困難になる可能性がある。</li> </ul> <p><b>【解決策】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・介護職員初任者研修助成事業の周知の強化。</li> <li>・定例就職面接会等の新たな実施方法の検討。</li> </ul> <p><b>令和3年度の取組計画</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・介護の仕事の魅力や働きがいの発信や助成事業の周知を強化していくとともに、定例就職面接会等により介護人材の確保を図る。</li> </ul>
<b>重点 介護人材の定着・資質向上に向けた支援 【介護保険課】</b>	
<p><b>【事業目標】</b> 業種別・職層別・テーマ別などの多様な研修の実施とともに、介護サービス事業所の自主的な従事者の資質向上、職場への定着に向けた取組を支援します。</p>	
<p><b>令和2年度の主な実施内容</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・介護支援専門員研修 全体研修3回、地域別研修11回</li> <li>・介護サービス事業者研修 項目別研修8回、職層別研修3回</li> <li>・介護職員実務者研修受講費助成 9事業所 13人（前年度 7事業所 18人）</li> </ul>	

計 画 事 業	令和2年度の取組計画のふりかえり
	【昨年度記載内容】
	<ul style="list-style-type: none"> <li>新たな課題となっている介護職員に対するハラスメントについて、職員が安心して働くことができる労働環境の形成の管理者対象のハラスメント対策研修を実施する。</li> </ul>
	【実績・評価】
	<ul style="list-style-type: none"> <li>介護サービス事業者研修は、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により集合研修を中止し、オンライン研修に切替えて実施したため、前年度（19回）より実施回数が減少。</li> <li>介護職員実務者研修受講費助成事業は、昨年度と比べ、事業所数は増加したが、受講者数は減少。</li> <li>ハラスメント対策研修は、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により中止。</li> </ul>
事業実施における課題・解決策	
【課題】	
<ul style="list-style-type: none"> <li>新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、集合による研修が困難。</li> <li>介護職員実務者研修受講費助成事業の実施状況は、昨年度と比べ受講者数が減少しており、利用する事業所が固定化されている。</li> </ul>	
【解決策】	
<ul style="list-style-type: none"> <li>新たな研修実施方法の検討。</li> <li>介護職員初任者研修助成事業の周知の強化。</li> </ul>	
令和3年度の取組計画	
<ul style="list-style-type: none"> <li>介護に係るスキルアップや能力に応じたキャリアアップが図れるよう多様な研修を実施する。また、大田区ケア倶楽部等を活用し、介護職員実務者研修受講費助成事業の周知を強化し、介護サービスの質の向上を図る。</li> </ul>	

<p>主な事業</p>	<p>サービス向上に向けた事業者支援・指導</p>
<p>主な事業の目標</p>	<p>介護サービス事業所には、適切なケアマネジメントのもとに、利用者が要介護状態となることを予防し、要介護状態の軽減・悪化の防止に資するサービスを提供していくことが求められます。</p> <p>区は、介護サービス事業者を対象とする事業者連絡会や業種別の集団指導等を通じて、利用者からの苦情、事故報告書から蓄積した適切なサービスのあり方や、事故等の未然防止策を周知するほか、実地指導等により把握したサービス提供に際しての好事例等の情報の普及・浸透を図ります。</p> <p>また、介護サービス事業所の安定的な運営を支えるため、新規事業所への開設から3か月以内の訪問を実施するほか、事業所の実地指導については、重点的かつ効率的な指導をめざし、毎年度策定する指導方針に基づき、対象事業所の選定を行っていきます。</p> <p>さらに、第三者評価受審の費用補助制度やその必要性を周知し、介護サービス事業者の主体的なサービス向上への取組を支援します。</p> <p>加えて、国保連合会介護給付適正化システム等を活用した、介護給付適正化事業の取組を推進することにより、介護サービス事業所の健全な運営を支援し、適正なサービス提供を確保します。</p>
<p>計 画 事 業</p>	<p><b>重点 介護サービス事業所の運営支援 【介護保険課・福祉管理課】</b></p> <p><b>【事業目標】</b> 事業者連絡会等を通じ、サービス向上に資する情報を提供するほか、実地指導や業種別集団指導を通じて必要に応じた助言等を行い、事業者の運営を支援していきます。</p> <p><b>令和2年度の主な実施内容</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>事業者連絡会は、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により中止。大田区ケア倶楽部により区からの情報提供を行った。</li> <li>実地指導 64 事業所</li> <li>業種別集団指導 新型コロナウイルス感染症拡大の影響により講習形式は中止。書面形式による実施(地域密着型通所介護、認知症対応型、共同生活介護)</li> </ul> <p><b>令和2年度の取組計画のふりかえり</b></p> <p><b>【昨年度記載内容】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>引き続き指導計画に基づき実地指導及び集団指導を実施する。 令和2年度 年間指導予定数 106 事業所</li> <li>指導計画に基づく実地指導及び集団指導により明らかになる指摘事項等を把握し、事業者連絡会等を通じて情報提供し、質の高いサービス提供につなげる。</li> </ul> <p><b>【実績・評価】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>新型コロナウイルス感染症拡大の影響により施設系事業所は中止したが、感染症対策を行ったうえで、在宅サービスを中心に事業所の検査を実施した。</li> <li>在宅サービスを中心に指導検査を実施し、サービスの質の向上の気付きを促すとともに、介護給付の適正化を図ることができた。</li> </ul> <p><b>事業実施における課題・解決策</b></p> <p><b>【課題】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>新型コロナウイルス感染症対応のため入居者のいる施設系サービスへの検査方法。</li> </ul> <p><b>【解決策】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>施設系サービスについてはオンラインを活用した集団指導の実施を検討する。</li> </ul> <p><b>令和3年度の取組計画</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>引き続き指導計画に基づき実地指導を実施する。 令和3年度 年間指導予定数 101 事業所</li> </ul>

計 画 事 業	<b>重点 介護給付適正化システムの活用による事業者の指導育成【介護保険課】</b>
	<b>【事業目標】</b> 国保連合会介護給付適正化システムを活用し、介護サービス事業所の適正な介護報酬請求を促し、健全な事業運営を支援します。
	<b>令和2年度の主な実施内容</b> ・調査事業所件数 居宅介護支援事業所 102 事業所、 その他のサービス事業所 23 事業所
	<b>令和2年度の取組計画のふりかえり</b> <b>【昨年度記載内容】</b> ・より多くの帳票を点検し、不適切請求の是正を行い併せて事業所の育成に力をいれる。 <b>【実績・評価】</b> ・点検件数を増やし、不適切請求の発見に努めた。
	<b>事業実施における課題・解決策</b> <b>【課題】</b> ・同一事業所において、複数月にわたって同様の誤請求が行われていないか、追跡調査が必要。 <b>【解決策】</b> ・誤請求についての通知後、正しく請求がなされているか、その後の請求について追加調査を行う。
	<b>令和3年度の取組計画</b> ・より多くの帳票を点検し、不適切請求の是正を行い、併せて事業所の育成に力を入れていく。
	<b>重点 福祉サービス第三者評価受審促進（居宅・施設系）【介護保険課】</b>
	<b>【事業目標】</b> 福祉サービス利用者がサービスの選択の際の情報を提供するとともに、事業者自らのサービス向上を促すため、福祉サービス第三者評価制度の普及定着を図ります。
	<b>令和2年度の主な実施内容</b> ・第三者評価受審促進 認知症高齢者グループホーム 27 事業所（前年度 29 事業所） 小規模多機能型居宅介護支援事業所 1 事業所（前年度 1 事業所） 民間施設系サービス事業所 2 事業所（前年度 2 事業所） 民間在宅系サービス事業所 12 事業所（前年度 16 事業所）
	<b>令和2年度の取組計画のふりかえり</b> <b>【昨年度記載内容】</b> ・事業者連絡会や職域別懇談会等により本事業の周知を強化し、事業者の第三者評価受審の促進に取り組む。 <b>【実績・評価】</b> ・受審した事業所は令和元年度よりわずかに減少。
<b>事業実施における課題・解決策</b> <b>【課題】</b> ・受審事業所数の減少。 <b>【解決策】</b> ・大田区ケア倶楽部等を活用し、事業の周知を更に強化する。	
<b>令和3年度の取組計画</b> ・大田区ケア倶楽部等の活用により事業の更なる周知を図り、事業者の第三者評価受審の促進に取り組む。	

## 基本目標3 いざというときに高齢者を支える体制をつくります

### 施策の方向性：災害時の支援体制の確保

主な事業	災害への備えの普及啓発
主な事業の目標	高齢者が集まる老人いこいの家や介護予防の通いの場等において、防災に関する知識の普及を図るとともに、避難行動要支援者名簿の作成、福祉避難所の体制整備をすすめます。
計 画 事 業	高齡者施設等を活用した普及・啓発 【高齡福祉課・福祉管理課】
	<b>【事業目標】</b> 高齢者が自分で備えるべき防災に関する知識の普及・啓発、避難行動要支援者名簿の作成を行います。
	<b>令和2年度の主な実施内容</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・老人いこいの家等における防災に関するセミナー等</li> <li>・避難行動要支援者名簿作成</li> <li>・高齢者及びその関係者を対象に「要配慮者のためのマイ・タイムライン講習会」の実施。参加者37人</li> <li>・感震ブレーカー支給取付事業対象者への、避難行動要支援者名簿の登録勧奨を開始。</li> </ul>
	<b>令和2年度の取組計画のふりかえり</b> <b>【昨年度記載内容】</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・避難行動要支援者名簿への登録拡大。</li> <li>・今年度も引き続き要支援者名簿の作成を行い、配付先となる自治会・町会等関係者に最新の情報を提供する。合わせて関係各課と調整し、避難行動要支援者名簿の作成時期について、今年度から出水期前に自治会・町会、民生委員児童委員等関係者に提供するため、従来の10月配付から6月配付に変更するなど、適切な時期に名簿作成が行えるよう検討を進める。</li> <li>・台風19号での教訓を踏まえ、風水害時の避難行動要支援者名簿の具体的活用方法の検討。</li> </ul>
	<b>【実績・評価】</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・避難行動要支援者名簿の登録者数の拡大のため、登録勧奨及び案内の機会を増やした。</li> <li>・「要配慮者のためのマイ・タイムライン講習会」を通じて、参加者に災害時における「自助」の意識を高めた。</li> </ul>
	<b>事業実施における課題・解決策</b> <b>【課題】</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・避難行動要支援者名簿登録者数のさらなる拡大。</li> <li>・災害時における「自助」・「公助」の意識を要配慮者だけでなく、その支援者にも理解してもらう必要がある。</li> </ul> <b>【解決策】</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・避難行動要支援者名簿について、区報・パンフレット等周知方法を充実させる。</li> <li>・「要配慮者のためのマイ・タイムライン講習会」の参加対象者を検討する。</li> </ul> <b>令和3年度の取組計画</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自治会・町会等関係者に対して、避難行動要支援者名簿を出水期前に配付する。</li> <li>・「要配慮者のためのマイ・タイムライン講習会」について、「自助」・「共助」の意識を浸透させるための方法を検討し実施する。</li> </ul>

計 画 事 業	福祉避難所の体制整備 【高齢福祉課・介護保険課】
	<b>【事業目標】</b> 運営マニュアルに沿った職員体制を確立するとともに、マニュアルの検証を図りながら、実施体制の強化に努めます。
	<b>令和2年度の主な実施内容</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・特別養護老人ホーム等 3か所を新たに福祉避難所に指定（計30か所）</li> <li>・老人いこいの家6か所を新たに補完福祉避難所に指定（計6か所）</li> <li>・福祉避難所備蓄物品として段ボールベッド、間仕切り、消毒液等を追加備蓄。</li> </ul>
	<b>令和2年度の取組計画のふりかえり</b>
	<b>【昨年度記載内容】</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・福祉避難所の指定箇所の拡充。</li> <li>・訓練に基づくマニュアル作成に向けた検討。</li> </ul>
	<b>【実績・評価】</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・福祉避難所3か所、補完福祉避難所6か所を新たに指定し、福祉避難所を拡充。</li> <li>・水災害時の補完福祉避難所開設・運営マニュアルを作成。</li> </ul>
	<b>事業実施における課題・解決策</b>
	<b>【課題】</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・福祉避難所の偏在（調布地区に少ない）の解消にかかる特別養護老人ホーム以外の施設の活用。</li> </ul>
	<b>【解決策】</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・調布地区に福祉避難所を新規で2か所指定し、地区による偏在の緩和。</li> </ul>
	<b>令和3年度の取組計画</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・福祉避難所の運営マニュアルの整備、訓練による検証・改訂。</li> <li>・協定福祉避難所の拡充、備蓄の充実。</li> <li>・災害時の連絡手段の整備。</li> <li>・福祉避難所協定の見直し検討。</li> </ul>

施策の方向性：緊急時の対応

<p>主な事業</p>	<p>高齢者緊急一時保護・支援体制の整備</p>
<p>主な事業の目標</p>	<p>高齢者に緊急事態が発生したとき、関係機関との連携、緊急ショートステイの活用、見守りキーホルダーの対応等により、夜間・休日を含む 24 時間の支援体制を確保します。</p>
<p>計 画 事 業</p>	<p>緊急支援体制の整備 【高齢福祉課・地域福祉課】</p>
	<p>【事業目標】 ひとり暮らし高齢者や家庭の状況により困難な問題を抱える高齢者を支援する体制を整備します。</p>
	<p>令和 2 年度の主な実施内容</p>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・庁内検討 9回</li> <li>・区内警察署との連絡会 全体開催 0回</li> </ul>
	<p>令和 2 年度の取組計画のふりかえり</p>
	<p>【昨年度記載内容】</p>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・引き続き関係機関との打ち合わせ・連携により緊急支援体制を整備していく。</li> </ul>
	<p>【実績・評価】</p>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新型コロナウイルス感染症拡大状況を踏まえ、庁内検討会を実施し、対応事例の共有等を行うとともに連携を図った。</li> </ul>
	<p>事業実施における課題・解決策</p>
<p>【課題】</p>	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・緊急的に個別支援が必要になった場合の速やかな連携。</li> </ul>	
<p>【解決策】</p>	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・警察署を含む支援の関係機関と情報共有を図る。</li> </ul>	
<p>令和 3 年度の取組計画</p>	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・引き続き、庁内検討会を開催し、緊急支援体制に係る情報共有を図る。</li> <li>・必要に応じて、関係機関等との連携に取り組む。</li> </ul>	
<p>緊急ショートステイ事業 【地域福祉課】</p>	
<p>【事業目標】</p>	
<p>介護者の急病等で一時的に介護が困難になった場合などの緊急時にショートステイを利用し対応します。</p>	
<p>令和 2 年度の主な実施内容</p>	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・緊急ショートステイ 5床</li> </ul>	
<p>令和 2 年度の取組計画のふりかえり</p>	
<p>【昨年度記載内容】</p>	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・引き続き、家族介護者の負担軽減、緊急対応に備える。</li> </ul>	
<p>【実績・評価】</p>	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・延べ利用人数 23人、延べ利用床 198床</li> </ul>	
<p>事業実施における課題・解決策</p>	
<p>【課題】</p>	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・特養においては、利用前に PCR 検査の陰性確認を求められており、介護者が急を要する事由の利用者は、PCR 検査を受診することが困難である。</li> </ul>	
<p>【解決策】</p>	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・特養での PCR 検査の実施</li> </ul>	
<p>令和 3 年度の取組計画</p>	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・引き続き事業を実施する。</li> </ul>	

計 画 事 業	見守りキーホルダー24時間対応 【高齢福祉課】
	<p><b>【事業目標】</b> 見守りキーホルダーの番号照会に、地域包括支援センター開設時間外の夜間休日に対応することにより、高齢者を早期発見できるよう支援します。</p>
	<p><b>令和2年度の主な実施内容</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・夜間休日照会対応 98件（前年比32件増）</li> <li>・前年と比較して増加した要因：関係機関である警察・消防における本事業の認知度上昇。</li> </ul>
	<p><b>令和2年度の取組計画のふりかえり</b></p> <p><b>【昨年度記載内容】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・見守りキーホルダーの番号照会における24時間の支援体制の確保。</li> <li>・警察や消防、その他機関などとのスムーズな連携。</li> </ul> <p><b>【実績・評価】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・救急や徘徊等のケースで、24時間体制で警察・消防と連携して対応することができている。</li> </ul>
	<p><b>事業実施における課題・解決策</b></p> <p><b>【課題】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・緊急性のない連絡（落とし物等の拾得等）が多い。</li> </ul> <p><b>【解決策】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・夜間窓口は、あくまで緊急時のための連絡先であることを周知する。</li> <li>・引き続き警察・消防等と連携し、緊急性のある事例は迅速に照会・情報提供を行い、高齢者の見守りを支援していく。</li> </ul>
	<p><b>令和3年度取組計画</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・見守りキーホルダーの番号照会における24時間の支援体制の確保。</li> <li>・警察や消防、その他機関等とのスムーズな連携。</li> </ul>
	大田区行方不明高齢者等情報配信事業（高齢者見守りメール）」【高齢福祉課】
（再掲）	

## 施策の方向性：尊厳ある生活の確保

主な事業	<b>高齢者等の権利擁護の推進</b>
主な事業の目標	成年後見が必要な人が確実に制度を活用できるよう、制度の普及・啓発とともに、社会貢献型後見人（市民後見人）＊の養成等により、後見人の確保をすすめます。
計 画 事 業	成年後見制度の利用促進 【福祉管理課・高齢福祉課・地域福祉課】
	<p><b>【事業目標】</b> 成年後見制度等の利用促進によって高齢者等の権利擁護を図ります。</p>
	<p><b>令和2年度の主な実施内容</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・成年後見制度の周知として、おおた社協だよりへの掲載（年4回発行のうち3回）、事業者連絡会での資料配布、大田区社会福祉協議会おおた成年後見センターによる職員講師派遣（8回）を行った。</li> <li>・同センターでの窓口・出張相談等実施</li> <li>・親族後見人に対する支援 講座2回、交流会1回</li> <li>・区長申立ての実施 36件（前年比 0件増減）</li> <li>・後見報酬助成の実施 33件（前年比 5件減）</li> <li>・前年と比較して増減した要因：区長申立ては例年並みの件数である。報酬助成は前年度申請者のうち対象要件を満たさなくなったと思われる（預貯金の増加・死亡等）未申請のケースが21件あり、対して新規の申請者が17名に留まった。</li> <li>・成年後見制度利用促進中核機関の設置及び地域連携ネットワーク構築に向けた検討</li> <li>・権利擁護支援検討会議の開催 6回</li> <li>・三士会（弁護士・司法書士・社会福祉士）との意見交換会 2回</li> </ul>
	<p><b>令和2年度の取組計画のふりかえり</b></p> <p><b>【昨年度記載内容】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・複合課題を抱えるケースについて、法的根拠や専門的知見に基づく助言を基に支援方針を検討する検討・支援会議を開催する。</li> <li>・検討・支援会議の傾向把握や、成年後見制度利用促進のための具体的方策を検討するため、地域連携ネットワークの土台となり得る組織として協議会の設置をめざす。</li> </ul> <p><b>【実績・評価】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・複合課題を抱えるケースについて、法的根拠や専門的知見に基づく助言をもとに支援方針を検討する検討・支援会議を8月から開催した。合計9件のケースについて検討を行い、地域における権利擁護の推進につながった。</li> <li>・権利擁護支援にあたる関係各者との情報共有、地域に共通する課題の抽出、地域での連携の仕組み作りを図る成年後見制度等利用促進協議会の立ち上げに向け、三士会を交えた準備会を開催した。</li> </ul>
	<p><b>事業実施における課題・解決策</b></p> <p><b>【課題】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・成年後見制度の利用促進を進めるためには、区民への周知啓発だけでなく、権利擁護支援に携わる福祉関係者が正しく制度を理解し、制度が必要な方々が適切に制度へつながるように支援する必要がある。</li> </ul> <p><b>【解決策】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・多くの福祉支援者に権利擁護支援検討会議を活用していただくとともに、『支援者のための権利擁護支援・成年後見制度活用に関する手引き』を作成する。</li> </ul>

計 画 事 業	<p><b>令和3年度の取組計画</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・成年後見制度等利用促進協議会の設置。</li> <li>・『支援者のための権利擁護支援・成年後見制度活用に関する手引き』の作成・配付。</li> </ul>
	<p><b>後見人の確保 【福祉管理課】</b></p>
	<p><b>【事業目標】</b> 社会貢献型後見人（市民後見人）の養成など、後見人の確保に努めます。</p>
	<p><b>令和2年度の主な実施内容</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・社会貢献型後見人の養成、監督、支援</li> <li>・社会福祉協議会おおた成年後見センターと連携して社会貢献型後見人の養成事業を実施</li> <li>・平成30年度に選考した成年後見人業務補助員（7名）に対して、フォローアップ研修（9回）及び実務研修（3回）を実施した。</li> <li>・講習修了者を家庭裁判所に推薦し、後見人受任と併せて、社会福祉協議会が後見監督人に就任し、後見業務の適切な遂行を支援。</li> <li>・社会福祉協議会よる法人後見事業として、支援を得られにくい住民を中心に、法人として後見人を受任。</li> </ul>
	<p><b>令和2年度の取組計画のふりかえり</b></p> <p><b>【昨年度記載内容】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・令和元年度に選考した社会貢献型後見人に対するフォローアップ研修と実務研修を実施する。</li> </ul> <p><b>【実績・評価】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・令和元年度に選考した成年後見人業務補助員に対し、大田区社会福祉協議会おおた成年後見センターの法人後見業務を補助する形での実務研修を行った。また、成年後見人に必要な知識や教養を習得するため、弁護士や司法書士を講師にして座学による研修（フォローアップ研修）を実施した。</li> </ul>
	<p><b>事業実施における課題・解決策</b></p> <p><b>【課題】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、被後見人等が居住する施設等への訪問が困難であった。</li> </ul> <p><b>【解決策】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・施設とも連携し、オンラインにより本人の状況確認等を行った。また、フォローアップ研修も講師・受講者ともに検温やアルコール消毒、マスク着用の徹底、教室内の十分な換気を行うなど感染症対策を講じた。</li> </ul>
	<p><b>令和3年度の取組計画</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・社会貢献型後見実務実習</li> <li>・フォローアップ研修</li> <li>・市民後見人養成講習 受講者募集説明会</li> <li>・社会貢献型後見人等養成基礎講習</li> </ul>

主な事業	高齢者虐待防止・対応の促進
主な事業の目標	虐待防止のための普及啓発とともに、虐待の早期発見・早期対応により、高齢者が安心できる生活を確保します。
計 画 事 業	<p>高齢者虐待防止の啓発及び高齢者虐待の対応 【高齢福祉課・介護保険課・地域福祉課】</p>
	<p>【事業目標】 高齢者虐待防止の啓発を強化するとともに、早期発見・早期対応により、高齢者が尊厳ある暮らしを送ることができるよう努めます。</p>
	<p>令和2年度の主な実施内容</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・高齢者虐待防止の啓発</li> <li>・虐待に係る相談・通報件数 262件（前年比 2件減） （養護者 243件・養介護施設従事者等 19件）</li> </ul>
	<p>令和2年度の取組計画のふりかえり</p> <p>【昨年度記載内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・引き続き高齢者虐待防止の啓発を強化するとともに、早期発見・早期対応に努める。</li> </ul> <p>【実績・評価】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・区民や関係機関等への啓発を実施するとともに、相談や通報に対しては速やかに対応した。</li> </ul>
	<p>事業実施における課題・解決策</p> <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・虐待事案等に関する相談や通報先の周知について、更なる啓発が必要である。</li> </ul> <p>【解決策】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・パンフレット等を活用し、高齢者虐待防止に関する啓発を継続実施していく。</li> </ul> <p>令和3年度の取組計画</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・引き続き高齢者虐待防止の啓発を強化するとともに、早期発見・早期対応に努める。</li> </ul>